CFP 算定キット Vers 2 操作マニュアル

2011年3月30日

目次

1. はじめに	3
1.1 概要と目的	3
1.2 動作環境	3
1.3 マクロ設定の確認・変更	3
1.4 算定キットのダウンロードと開始	4
1.5 スタート	5
2. 外部ファイルのインポート	8
2.1 外部ファイルの種類とインポート	8
2.2 インポートとバックアップ	8
2.3 ダウンロード・インポート手順	10
2.4 各種テンプレートについて	13
3. 申請に必要なデータの入力	19
3.1 申請書の入力・編集の概要	19
3.2 各シートへの移動	20
3.3 A) 直接入力・編集するシートの編集	22
3.4 B) 数値定義シートの編集	27
4. CFP 検証申請書の出力と保存	
5. 算定キットの終了	
6. その他(注意事項等)	50
6.1 インポート時の注意点	50
6.2 その他	51

1. はじめに

1.1 概要と目的

CFP 算定キットは、カーボンフットプリント制度試行事業において、カーボンフットプリ ント(以下、「CFP」という)の算定結果と表示方法の検証及び CFP マークの付与を希望 される事業者が、算定から CFP 検証申請書の作成を円滑に進めることを支援するプログラ ムです。

1.2 動作環境

CFP 算定キットは、以下の環境で動作します。

対応 OS	・Microsoft Windows XP(Service Pack2 以降)
	• Microsoft Windows Vista
	• Microsoft Windows 7
対応プラットフォーム	• Microsoft Excel 2003
	• Microsoft Excel 2007
	• Microsoft Excel 2010
要求 PC スペック	・CPU 1GHz 以上
	・RAM 1GB以上
	・HDD 空き容量 100MB 以上
要求モニタ解像度	・1024×768 ドット以上
	(1280×1024 ドット以上を推奨)

1.3 マクロ設定の確認・変更

CFP 算定キットは Microsoft Excel のマクロを使用します。マクロが無効の状態では、CFP 算定キットは動作することができませんので、マクロの設定が有効になっているかをご確 認ください。

マクロが有効になっていない場合は、予め Microsoft Excel や Office の設定を変更し、マク

ロを有効にしてください。マクロの変更設定操作は、Excel や Office のバージョンによって 異なります。

以下の URL にバージョン毎の変更設定方法のリンク集がありますので、リンク先の情報を 参考に設定を変更してください。

http://www.cfp-japan.jp/ckit/macro.html

1.4 算定キットのダウンロードと開始

CFP 制度試行事業 HP (http://www.cfp-japan.jp/) より CFP 算定キットをダウンロードします。

ダウンロード手順:

- (1) CFP 算定キットファイルをダウンロードします。
- (2) デスクトップや任意に作成したフォルダー(例:「CFP 算定」等)に保存します。
- ◆ CFP 制度試行事業 HP、CFP 算定キットダウンロードページ

NME CPARE OPARAL CPARE NME CPARE CPARE CPARE CEPENT PORTING CONT > REPORT CPARE PORTING CONT > REPORT CEPENT PORTING CONT > REPORT CPARE PORTING CONT > REPORT CEPENT PORTING CPARE PORTING CONT > REPORT CEPENT PORTING PORTING CONT > REPORT PORTING CONT > REPORT CEPENT PORTING PORTING CONT > REPORT PORTING CONT > REPORT CEPENT PORTING PORTING PORTUNC PO	Carbon Footprint of Products 製品のCO2の「見える化」カーボンフットプリント	> ENGLISH
House on the Autore State St	HOME CFPとは CFP対応について CFP対応のの参加 CFP対	◎FAQ 回過間い合わせ 回 サイトマップ 1条製品 CFP 関連規程
CFP 制度への参加 ・マンドはなんの参加 CEP 用度 ・マンドはなんの参加 CEP 用度 ・マンドはなんの参加 CEP 用度 ・マンドはなんの参加 CEP 算法キャト ・マンドはなんのかか CEP 算法キャト ・マンドはなんのかか CEP 算法キャト ・マンドはなんのかか CEP 算法キャト ・マンドはなんのかか CEP 算法キャト ・マンドはなんのかかか CEP 算法キャト ・マンドはなんのかか CEP 算法キャト ・アメリンドンドレード CEP 算法キャト ・アメリンドレンド CEP 算法キャト ・アメリンド	HOME > GP=制度への参加 > PGP線電について > 級型PGP-官	
	CFP制度への参加	 CF時間後への参加 * マーンが本までの混れ * POや原東東大部金銀について
	認定 PCR 一覧	* PCR原菜蒸完計图金鉄涂計图 - 覧
CPP 第定キット 第定公式 第定公式 <th>POLEZKOVIC POLEZKOEZKE PZELEOKERE POLEZKOEZKE</th> <td>· PORTECOUT : SSGM</td>	POLEZKOVIC POLEZKOEZKE PZELEOKERE POLEZKOEZKE	· PORTECOUT : SSGM
CP 算能率ットは、電気での一転づつットプリントマーの低材性者質する製品のカーボンフ・ ドリント (CP) 物理学生の学れの大変でなるシアトプリントマールの低材性者質する製品のカーボンフ・ ドリント (CP) 物理学生の学れの大変なでなるシアトプリントできんと た、CP 解理学ータングラムードになる方間・CP・ガンフ・ナリントマンクレードの低化学生の学んとして CP 算能学・タトに信る方間・CP・ガンフ・ナリント業績・市所の活動程学構造「の広切や」 (GPP ロー・ビー・マー・ビー・マー・ビー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー	CFP 算定キット	
CPF 算定キットに係る力剤(い合わせ) 「ロホッー>分光用(数熱ルーK) CPF 調定キットに係る力剤(い合わせ) 「ロホッー>分光用(数拠ルーK) TPF になっかが用したのかいた時に取り入ります。 「ロホッル」 第1: *101.3443 第二数十十二(1) 第2: *301.4301 「ロホッル」 Fat: 0.34201.7563 「ロホッル」 Fat: 0.34201.7663 「ロホッル」 Fat: 0.34201.7663 「ロホッル」 Fat: 0.34201.4060 「ロホッル」<	CPD 国家キットは、世社 PCPC に届ける。各会部グライゼンファトブリンドマークの結析を発達する場合の一ポンフッ トプリント(CPD の間に登場に行ったとされてきぶつとつです。 このシフトをガウンロードし、保留ダデータを入げまえとにより、製品の CPD 保全電源に関することだけできると に、CPD 福祉市内部にご加めが聞きたち、「カーポンフットプリント 実現知道・表示力法規模で発表」の出いや、回時間 の数年だと行うことが可能となります。 CPD 国家キャトルタイワンロードと対応であります。このできままっと通りマニップと1 多ってきくだれい。	· arron-e 3 1 5 L = K
CPF 組織に含意業時間(小学 通常機能制度)な23 (2) : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	CFP 算定キットに係るお問い合わせ	・ ○中マーク使用計算換過一覧
	CFP 制度就行事業事務局(み字述情報総括株式会社) 超加: 内田、古島 住所: 〒101-8443 東京都干代田区神田織町 2-3	()) ISO関連情報
ComERをやりプログラム(12 Mar) ComERをやりプログラム(12 Mar) ComERをやりプログラム(12 Mar) ●愛美男子 ● 解選発表 ●美美男子 シングやデスション SMArcouck Mindess (Mindees 2000, Mindees 370, Mindees 172, Mindees 173, SMArcouck Mindees 2000, Mindees 270, Mindees 172, Mindees 173,	e-mail : carbon-footprint≋mizuho-ir.co.jp Tel: 03-5281-7563 Fax: : 03-5281-5683	(1) 海外の動向
Wintercost Windows (Windows 200), Windows 202, Windows 20 20 (別にします。 アイベント情報		• 假道発表
	Similarosoft Windows (Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows 7) (3)(FL):	🌪 イベント情報

- (3) ダウンロード完了後、CFP 算定キットのファイルを開いて開始します。
- (4) マクロが有効になっていない場合、下記の「はじめる前に」シートが表示されること があります。マクロを有効にした上で「CFP 算定キットの使用を開始する」をクリッ

クしてください。

- (5) 「スタート」シートへ移動します。移動しない場合は CFP 算定キットファイルを一旦 閉じ、再度起動させた上で「CFP 算定キットの使用を開始する」をクリックします。
- ◆ マクロの設定が有効になっていない場合、以下のような画面が表示されます

はじめる前に



1.5 スタート

マクロを有効にした状態で CFP 算定キットを起動させると「スタート」シートが表示され ます。このシートが表示されれば CFP 算定キットを使用することができます。また、この シートを起点として、CFP 検証申請書の作成を進めます。

「スタート」シートでは CFP 算定キットの機能を以下の2種類の形で表現しています。

1. CFP 算定・検証申請書作成までの流れ

2. メニュー

「1. CFP 算定・検証申請書作成までの流れ」は、フローチャートに沿って、CFP の算定・ 検証申請を進めるもので、初めて CFP 算定キットをご使用される方はこちらに沿ってご利 用ください。

「2.メニュー」は CFP 算定キットの機能を集めたもので、ある程度 CFP 算定キットの操作 に慣れた場合に使いやすいメニュー構成となっています。



フローチャート形式で CFP 算定キット利用の流れを説明しています。「移動」をクリック するとダウンロードサイトや目的とするシートへ移動します。「実行」ボタンを押すと、ボ ックス内の機能が実行されます。 メニュー

2. メニュー

2-1. 最新ファイルのダウンロードと、インポート

・データの入力を始める前に、算定キット自身及び、取り込まれている以下のワークシート群が最久 ・「①算定キット」を新たに事務局からダウンロードした時点では、②、③は最新のものがインボート別、 ・「①算定キット」が最新でないものを利用している場合には、「②CFP機証申請書」、「③共通原単位」か し、インボートをした上でご利用ください。 ・「③テンブレート」については、WGと事務局による準備状況により、入手できる場合とそうでない場合があり 算定する際に必須なものではありません。

インポートを行う場所

・項目のハカスはとこをあってためのものであり、

ファイルの種類	含まれるシート名	バージョン	アクション	最新版ダウンロード先	
①算定キット	今開いているExcelファイル	Kit v2.0	新たにダウンロー ドしたファイルを ご利用ください	http://www.ofb-iapan.ip/ckit/basic.html	
②CFPté証申請書	 ① 決証申請書 ② 詳細情報 < 最終財用 > ② 詳細情報 < 中間財用 > ③ マーク表示 ④ アーク表示 ④ デーク入力と算出結果 ⑥ データの根拠 	Form v2.0	<u>- インボート</u>	http://www.ofa-ispanip/ckit/sppform.html インボートを行うと(1)~(6)のデータが失われます。 (5)(6)のデータは数値定義へ入力された情報から生成 されます。	
③共通原単位	<u>井通原単位</u>	Factor v3.0	インポート	http://www.cfs.inc.i.c.i.c.i.c.i.c.i.c.i.c.i	
④テンプレート	数值定義			- 申請書の入力・編集を行い、その内容を	
	プロセス定義		(「(3) データ入力シートと寛出結果」と	
	<u>シナリオ定義</u>			(6)データの根拠」シートへ反映を行う場	l 7

2-2. 各シートの編集と下書き生成

申請に必要なデータを下記の「直接編集」シートへ入力してください。 「下書を生成」ボタンを押すと、「教壇定執」へ入力されたデータから、「(5)データ入力と算出結果」「(6)データの根拠」のシートが生成されます。 検証等で、申請書で変更すべき点が見つかった場合には、必ず「教壇定義」シートへ変更を加えて、「下書を生成」→「申請書出力」を行います。このようにして、最低限必 異な箇所だけを変更することで、効率的にデータの変更と、申請書の作成をすることができます。

編集方法	シート名	アクション	備考
直接編集します	<u>(注)検証申請書</u> (2)詳細情報<最終財用≥ (2)詳細情報<中間財用≥ (3)マーク表示 (4)フロー図 (4)フローズ	それぞれのシート へ移動して編集 をしてください	詳細情報表示のカーボンフ・ナプリント値とライフサイク ル段階別の内訳については、下書き生成時の計算結 果で上書きままま
生成	<u>数値定義</u> <u>のデータ入力と算出結果</u> のデータの振動	۲ŧ	反映した内容を CFP 制度試行事 業事務局に提出する申請書を出
2-3. 申請書の	出力		力する場所
下書をへ出力された作	骨観を元に、CFP検証申請書のExcelファイルが生成されますので	:、通宜保存してC+P	試行制度事務局へご提出をお願いいたします。
		申請書出力	

2-4. バックアップ

バックアップの作成を行う場所 データを含む、この算定キットのパックアップを保存します。同じつォルダ中に「****」パックアップ、YYMMD ただし、「****」は算定キットのファイルの名称、「YYMMDD-hhmmso」 はパックアップを実行時の、「年月戸

バックアップ作成

こちらの画面では、メニュー形式で各種機能の実行やシートへの移動が行えますので、素 早く目的の機能の実行やシートへのアクセスが可能となります。そのため、操作に慣れて きた方はこちらの利用を推奨します。

2. 外部ファイルのインポート

2.1 外部ファイルの種類とインポート

CFP 算定キットでは、必要に応じて以下の3種類の外部の Excel ファイルを取り込むことができます。

- CFP 検証申請書
- 共通原単位
- ・ テンプレート(数値定義、プロセス定義、シナリオ定義)

CFP 算定キットファイルを新たに CFP 制度試行事業 HP からダウンロードした時点では 「CFP 検証申請書」、「共通原単位」はともに最新のものがインポート済みの状態ですので、 これらのファイルのインポートは不要です。

PCR に対応したテンプレートが存在する場合にのみ、「テンプレート」のダウンロード・インポートを行います。ただし、「テンプレート」は CFP 算定キットを使用する上では必須ではありません。

外部ファイルをインポートせずに CFP 算定キットを使用する場合には、この章をスキップ していただいてもかまいません。

検証申請の際には、最新バージョンの CFP 検証申請書ファイル、共通原単位ファイル が必要となります。古いバージョンの CFP 検証申請書や共通原単位を使用していると 検証申請を受け付けられないことがありますので、ご注意ください。

2.2 インポートとバックアップ

CFP 検証申請書をインポートした場合は 「(1)検証申請書」 ~ 「(6)データの根拠」 までの各シートについて、空のものと入れ替えがなされ、それまでに入力した全ての情報が失われます。

テンプレートをインポートした場合も同様に、そのテンプレートに、「数値定義」、「プロセ ス定義」、「シナリオ定義」の各シートが含まれているものについて入れ替えがなされます。 そこで、作業内容を失わないために、インポート前にバックアップを作成するようにメッ セージが出ますので、それに従いバックアップを作成してからインポートを行ってください。

CFP 算定キットのバックアップは以下のケースで作成することができます。

- CFP 検証申請書のインポート前
- テンプレートのインポート前
- ・ 数値定義の「フォーマット修復」の前
- スタート > メニュー > 2·4.バックアップ から手動で実行

バックアップでは、現在利用中の CFP 算定キットファイルと同じフォルダの中に 「(CFP 算定キットファイル名)_バックアップ_(年月日-時分秒).xls」 といったファイルが作成 されます。

例: CFP 算定キット_バックアップ_20110301-210000.xls

◆ CFP 検証申請書のインポート前にバックアップ作成の有無を確認するダイアログ



通常は「はい」を選択してバックアップを作成してからインポートしてください。

◆ 手動でバックアップを作成する場合	_		_
2-4. バックアップ		「スタート」シート下部の	
データを含む、この算定キットのバックアップを取得します。 同じフォルダ中に「****」「ックアップ_YYMDD-hhmmssxls」というファイルを作成します。 ただし、「****」「其算定キットのファイルの名称、「YYMMDD-hhmmss」 はバックアップを実行時(の、「年月日子	このボタンをクリック	
، ي ا	ックアップ作成		

2.3 ダウンロード・インポート手順

ここでは、最新版のファイルのダウンロードとインポートの手順を説明します。

- (1) スタートで指定されているダウンロード先のホームページを開き、最新版のファイル をダウンロードします。
- ◆ リンクをクリックしてウェブサイトへ移動

2. メニュー

2-1. 最新ファイルのダウンロードと、インボート

 データの入力を始め 「①算定キット」を新か 「①算定キット」を新か 「①算定キット」が最終 ポートをした上でご利 ・「④テンプレート」につ する際に必須なもので 	る前に、奠定キット自身及び、取り込まれているよ に軍務局からなウンロードした時点では、②、② 市でないものを利用している場合には、「③でFPH 形ください。 いては、WGと事務局による準備状況により、入 はありません。	以下のワークシート掲 は最新のものがイ 総証申請書」、「②共 手できる場合とそう	¥が最新であるかを確 ッポート済みですので、 通原単位」が古いこと) でない場合があります	認してたさい。 特にクパートする必要はありません。 があり得ますので、以下のURLから最新版ダウンロードし、イン が、必要な項目の入力支援を提供するための ダウンロード先の URL
ファイルの種類	含まれるシート名	バージョン	アクション	最新版ダウ
①算定キット	今開いているExcelファイル	Kit v2.0	新たにダウンロー ドしたファイルをご 利用ください	http://www.cfp-jspan.jp/ckit/basic.ht
②CFP検証申請書	(1)決証申請書 (2)詳細情報 (最終財用> (2)詳細情報 (中間財用> (3)マーク表示 (4)フロー回 (5)データ入力と算出結果 (6)データの根拠	Form v2.D	インボート	h <u>ttp://www.c%-ispan.jp/ckit/sppform.html</u> インボートを行うと(1)~(6)の データが夫 われます。(5)(6) の データは数 値定額 ヘ入力された情報 から生成されま す。
②共通原単位	<u>共通原単位</u>	Factor v3.D	インポート	http://www.cfp-ispan.jp/ckit/factor.html
@テンプレート	数值定義			http://www.ofp-japan.jp/okit/template.html
	<u>プロセス定義</u>		インポート	インボートを行うと、算定キット内の同じシート名のワーク シートに含まれている全ての情報が失われます。過去の
	<u>シナリオ定義</u>			算定 キットを対象としてインボートすることも可能です。

(2) ダウンロードしたファイルをデスクトップや任意の場所に保存します。

◆ ウェブサイトで、CFP 検証申請書の Excel ファイルを保存

各種申請受付再開に関する詳細説	明はこちらへ		NEWS	海外の動向
CFP検証までの流れ				-
カーボンフットブリント算定・表示試行事 業者等の皆欄よ、以下に示す手順に領 「カーボンフットブリントの算定結果及こ また、カーボンフットブリントマーク等の	s葉における、CFPの寛定結果と は、検証申請を行ってくださ、 は、天方法の検証に関する規 表示については、「カーボンフット、	右クリック 対象をファイルへ係	存	
1 申請書のダウンロード	「カーボンフットブリント算定結果・表示が カーボンフッナブリット算定結果 表示方法供証申請書 (2010年11月26日改訂)	37	Ľ	支援事業のご案内
2 申請書の記入	本ホームページで公開された該当する「 出量の算定を行い、「カーボンフットプリ」 入ください。	認定PORJに準拠して、製品に関するGHG排 水算定結果・表示方法検証申請書Jにご記		
3 申請書の提出	「カーボンフットブリント算定結果・表示が ヘメールで送付して下さい。なお、メール での提出も受け付けます。(※)送付先 参照ください。	5法検証申請書」をCFP制度試行事業事務局 」での提出を原則としますが、郵送及びFAX は後記「お問い合わせ及び送付先」をご		

◆ 名前を付けて保存ダイアログ



(3) 「インポート」ボタンをクリックしてインポートを開始します。

スタート >

◆ インポートボタン

2. メニュー

2-1. 最新ファイルのダウンロードと、インポート

 データの入力を始め、 「の算定キット」を新か、 「の算定キット」が最新 「の算定キット」が最新 ボートをした上でご利服 ボートをした上でご利服 「ゆテンプレート」につまる際に必須なもので 	る前に、算定キット自身及び、取り込まれているよ 日本務局からダウンロードした時点では、②、③ すでないものを利用している場合には、「②でFM れてたれ。 いては、WGと事務局による準備状況により、入 はありません。	↓下のワークシート番 は最新のものがん 「証申請書」、「②共) 手できる場合とそう	#が最新であるかを確 ルポート済みですので、 通原単位」が古いことが でない場合があります	認してください。 特にインポートする必要はありません。 かあり得ますので、以下のURLから最新版ダウンロードし、イン が、必要な項目の入力支援を提供するためのものであり、算定	
ファイルの種類	含まれるシート名	バージョン	アクシー	検証申請書のインポートは	
①算定キット	今開いているExcelファイル	Kit v2.0	新たにダ ドしたファ 利用ください	このボタンをクリック	
◎ CFP検証申請書	(1)検証申請書 (2)詳細情報 < 最終財用 > (2)詳細情報 < 幅財用 > (2)マーク表示 (4)フロー図 (5)データ入力と算出結果 (6)データの根拠	Form v2.0	インボード	インボートを行うと(1)~(6)のデータが失われます。(5)(6) のデータは数値定義へ入力された情報から生成されま す。	
③共通原単位	<u>共通原単位</u>	Factor v3.0	インポート	http://www.cfp-japan.jp/ckit/factor.html	
④テンプレート	数值定義			http://www.cfp-japan.jp/ckit/template.html	

 図画を聴
 のたち・igen ip/ Cki/ Vempise intmi

 フロセス定義
 インボート

 シナリオ定義
 インボート

(4) 「ファイルを開く」ダイアログが立ち上がるので、先ほど保存した CFP 検証申請書フ ァイルを選択し、ファイルを開きます。

🗶 ファイルを開く				
🚱 🌍 🛛 📕 🕨 新しいフォル	Ø− 🔻 🍫	新しいフォルダーの検索	Q	
整理 ▼ 新しいフォルダー		:≡ ▼ 🗍		
📔 日華化学	▲ 名前 [▲]	更新日時	重類	
퉬 富士通総研	Santei_20101126.xls	2011/03/02 21:38	Aicro	
📗 豊解体				
▶ NARO関係		2	1 検証由請書を選ば	7
30110203			1. 便皿中明音で迭1	`
🐌 ecoinvent				
ecoinventReports				
📗 NARO2				
🔯 20110203.zip				
🍌 simapro	▼		. 開く)
ファイル	Z(N): santei_20101126.xls ・ ツール(L) ・	すべての Excel ファノ 開く(0) ▼ キャンセノ		

- (5) インポートによる作業内容消失の確認メッセージが表示され、バックアップを作成するか否かを聞かれるので必要に応じてバックアップを作成してください。
 ※共通原単位のインポート時はバックアップや上書きの確認は行われません。
- ◆ バックアップの確認のメッセージ

4icrosoft	Excel	23
A	インボートを行うと、以下の対象となるワークシートがインボートフ ァイルのものと入れ替り、作業内容が失われます。算定キットのバッ クアップを作成してから継続しますか? 「はい」:バックアップを作成してからインポート 「いいえ」:バックアップを作成しないでインポート 「キャンセル」:インボートを中止 入れ替え対象のワークシート: (1)検証申請書、(2)詳細情報<最終財用>、(2)詳細情報<中間財用> 、(3)データ入力と算出結果、(4)別紙、(5)マーク表示	
	はい(Y) いいえ(N) キャンセ	16

「はい」 ⇒バックアップを作成した上でインポート(元データはバックアップに残存)
 「いいえ」⇒バックアップなしでインポートを実施(元データは消失)
 「キャンセル」⇒インポートは実行されない(元データはそのまま残存)

- (6) 「インポートに成功しました」と表示されればインポート完了です。
- ◆ インポート成功のメッセージ

Microsoft Excel		8
インポートに成	功しました	
		_
	ОК	

バックアップで「はい」を選択した場合は「同じフォルダにバックアップを保存しました」 と表示されてから、上記メッセージが表示されます。

◆ バックアップ完了のメッセージ

MICTOSOTE EXCEL	
同じフォルガにバックアップを保存	ました。
ファイル名:110_統合β版_バックア	ップ_110301-212029.xls
マアイル名:110_統合β版_/(ックア	ップ_110301-212029.xls

共通原単位、テンプレートに関しても同様の手順でインポートを実施することができます。

2.4 各種テンプレートについて

CFP 算定キットにおけるテンプレートは、以下の3種類になります。

- 数值定義
- プロセス定義
- シナリオ定義

「プロセス定義」及び「シナリオ定義」においては、CFP 制度試行事業 HP (http://www.cfp-japan.jp/) から入手できる場合があります。

◆ CFP 算定キットのテンプレートのダウンロード

+∶5 定P	0件 1 2 CR番号下2桁;	3 4 5 北阪数を表す		1ページあたり	の表示件数:	10 💌 件	
No.	認定PCR 番号	公表日	認定PCRの名称	認定POR	CFP算定 キット	PCR 旧版	
10	PA-BQ-01	2010年09月06日	広範囲PCR(エネルギー使用型製 品)	Por	-		
9	PA-BP-01	2010年03月31日	紫外線水平照射型の空気清浄機	POI	-	7-	ークない PCR は、テンプレー
8	PA-BN-01	2010年03月31日	手すき和紙	No.		ト 義)	(プロセス定義、シナリオ定 が準備中であることを表す。
7	PA-AY-01	2010年03月10日	無機性汚泥を原料とする再生路盤材	Por	-		
6	PA-AU-01	2009年12月09日	小形二次電池	POF			

2.4.1 数值定義

2.4.1.1 概要

「数値定義」は、「(5)データ入力と算出結果の詳細」「(6)データの根拠」の生成元の「数値 定義」シートそのものを表します。このシートをインポートする場面としては以下のよう な場合が考えられます。

- ・ CFP 検証申請書や、共通原単位のバージョンが上がり、以前の算定キットが利用でき なくなった時に、作業内容を過去の算定キットから最新の算定キットへ移動する場合
- ・ 過去に算定キットで作成したファイルを元に事業者が新たに算定・申請を行う場合
- ・ シリーズ商品、類似商品について、特定の値だけを書き換えて申請を行う場合



◆ 「数値定義」シートのイメージ

2.4.1.2 作成・編集・取り込み

数値定義は、CFP 検証申請書を作成する元となるデータで、算定を進めながら作成されて いくものです。数値定義の作成・編集は、「3.4 B)数値定義シートの編集」をご参照下さい。

なお、数値定義を作成・編集し、テンプレートとして位置付けるためには、複数の製品間 で共通するパラメータを意識して作成することが重要です。

例えば、同じ輸送経路を通過する製品であれば、その経路がどれだけ複雑なものであった としても、異なる製品間で共通するパラメータは、製品の重量と製品あたりで使用される 輸送資材の量になります。それらの製品間で共通するパラメータを「数値入力行」(後述) として用意しておくことで、一つの数値定義を、同じ輸送経路をたどる多くの製品の算定 の元として共有でき、算定負荷を軽減することができます。

このようにして作成された数値定義のテンプレートは、インポート機能でそのまま CFP 算 定キットへ取り込むか、Excel のコピー&ペースト機能を使用してその一部を「数値定義」 シート貼り付けて利用します。

CFP 算定キットヘインポートする場合にはシート名称が「数値定義」となっている必要が あります。そのため、ヘッダーが規定のものと違っているとインポートされませんのでご 注意下さい。

2.4.2 プロセス定義

2.4.2.1 概要

「プロセス定義」シートは PCR に記載されているデータ収集項目を 5 列からなる表の形へ 変換したもので、PCR を表形式へ変換したものとも言えます。このシートをインポートし ておくと以下のような入力支援機能が使用できるようになります。

- ・ 「定義を展開」ボタン(後述)による数値定義への申請書出力行の一括出力
- ・ 「プロセス選択」機能(後述)においてライフサイクル段階(以下、「LC 段階」という)の選択

	A	В	С	D	E
1	ブロセス定義				
2					
З	段階	サブタイトル	プロセス	項目	単位
4	原材料調達	表紙	製造	表紙原材料	kg
5	原材料調達	表紙	輸送	表紙原材料	tkm
6	原材料調達	表紙	排水処理	表紙原材料	m3
7	原材料調達	表紙	廃棄物処理	表紙原材料	kg
8	原材料調達	とじ具	製造	とじ具原材料	kg
9	原材料調達	とじ具	輸送	とじ具原材料	tkm
10	原材料調達	とじ具	排水処理	とじ具原材料	m3
11	原材料調達	とじ具	廃棄物処理	とじ具原材料	kg
12	原材料調達	付属品	製造	付属品原材料	kg
13	原材料調達	付属品	輸送	付属品原材料	tkm
14	原材料調達	付属品	排水処理	付属品原材料	m3
15	原材料調達	付属品	廃棄物処理	付属品原材料	kg
16	原材料調達	包装資材	製造	個包装(容器)	kg
17	原材料調達	包装資材	輸送	個包装(容器)	tkm
18	原材料調達	包装資材	排水処理	個包装(容器)	m3
19	原材料調達	包装資材	廃棄物処理	個包装(容器)	kg
20	原材料調達	包装資材	製造	完成品梱包材	kg
21	原材料調達	包装資材	輸送	完成品梱包材	tkm
22	原材料調達	包装資材	排水処理	完成品梱包材	m3
23	原材料調達	包装資材	廃棄物処理	完成品梱包材	kg
24	原材料調達	包装資材	製造	段ボール	kg
25	原材料調達	包装資材	輸送	段ボール	tkm
26	原材料調達	包装資材	排水処理	段ボール	m3
27	原材料調達	包装資材	廃棄物処理	段ボール	kg
28	生産	中間製品(表紙)	加工	燃料	kg
29	生産	中間製品(表紙)	加工	電力	kWh
30	生産	中間製品(表紙)	加工	上水·工業用水	m3
31	生産	中間製品(表紙)	中間製品輸送	中間製品サイト⇒完成品サイト	tkm

◆ 「プロセス定義」シートのイメージ

2.4.2.2 作成・編集・取り込み

PCR 毎に用意された「プロセス定義」シートを含むテンプレートが入手できない場合や、 入手した「プロセス定義」シートが詳細すぎて当該製品に合致しない項目が多い場合等に は、「プロセス定義」シートを直接作成・編集します。「プロセス定義」シートは Excel で 編集することができます。

編集の注意点としては、段階の文字列(A列)には以下の5段階の文字列(「原材料調達」、 「生産」、「流通」、「使用・維持」、「廃棄・リサイクル」)が入力されている必要があります。 これらは CFP 検証申請書の段階表示に対応しており、これ以外の文字列が指定された場合 (例:「使用・維持管理」)入力チェックで不適切な段階名という判定を受けたり、選択補助機能で表中に表示をされなかったりして正しく動作しませんので、ご注意ください。

•	プロセス定義			, H ²	
1	A	B			
1	ブロセス定義				
2					
3	段階	サブタイト ル	プロセス	項目	単位
4	原材料調達	A	AA	ААА	kg
5	生産	В	BB	BBB	kg
6	流通	de la companya de la comp	CC	CCC	kg
7	使用·維持	D		DDD	kg
8	廃棄・リサイクル	E 段階		EEE	kg
-					

なお、CFP 算定キットヘインポートするためにはシートの名称が「プロセス定義」となっている必要があります。そのため、ヘッダーが既定のものと違っているとインポートされませんのでご注意下さい。

2.4.3 シナリオ定義

2.4.3.1 概要

「シナリオ定義」シートは PCR に記載されているシナリオに基づき、数値定義内の複数行 へまとめて名前をつけ、作成されたものです。

インポートしておくと、「ブロック挿入」機能(後述)で、特定のシナリオを表す行(複数 の行)の入力がワンクリックでできるようになります。

2.4.3.2 作成・編集・取り込み

PCR 毎に用意された「シナリオ定義」シートを含むテンプレートが入手できない場合や、 独自のシナリオを使用したい場合には、「シナリオ定義」シートを作成・編集します。「シ ナリオ定義」シートは Excel でも編集できますが、通常は「数値定義」シートで編集され た行をコピー&ペーストして作成していきます。

なお、「シナリオ定義」シートの内容は、先頭の 2 列以外は、「数値定義」シートと同一で す。

「シナリオ:」列に表示された値の重複を排除したものが、数値定義ユーティリティのプ ルダウンに現れ(「挿入」プルダウン内では、「シナリオ:」の接頭辞が付きます)選択さ れた後、「挿入」ボタンが押下されると、その値に該当する C 列以降の範囲が「数値定義」 シートにコピーされます。

そこで、同じシナリオに属する行については、「ID」「シナリオ:」の欄には同じ値を設定 します。(以下の例では、「玄米栽培投入物輸送」というシナリオについて、13 行目~17 行 目においては全て「ID」については「1」が、「シナリオ:」については「玄米栽培投入物 輸送」という値が設定されています)

and the second s												
1	1			0	LC段	階など	-				活動量	_
	1D 27	HJ7:	行の種類	状態	6	段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	款值名	数值
	1 玄米栽培投入	物輸送	医切利行									
1	1 玄米栽培投/	物輸送	故僅人力任	_							輸送物重量	1.00E+0
<u> </u>	1 医朱纹塔报/	初輸送	以前人力行	_				1			輸送距離	5.00E+0
5	1 玄米栽培投入	、物輸送	加立	_							1000	1.00E+0
	1 玄米栽培投入	物輸送	申請書出力行			原材料調達			輸送物輸送トンキ □		輸送物輸送トンキ ロ	5.00E-0
	< VOTERN SAME	and as	Swillin .									
3	2 乾燥調整箱計	論送	故值入力行		1		0	5		1	輸送物重量	1.00E+
)	2 乾燥調整施設	時輸送	收值人力行	_							輸送距離	5.00E+0
6	2 乾燥調整箱部	R翰送	モビテンスなし個人 力行								1000	1.00E+
		100000							80104480101 S.r.+		80194680191 S. +	0.0000

◆ 「シナリオ定義」シート

これらの「ID」「シナリオ:」列で指定した値が既に別のシナリオで使用した値と重複しな いように設定する必要があります。重複してしまった場合には、最上の列にあるシナリオ だけが挿入され、それよりも下のシナリオは無視されることになりますのでご注意くださ い。

なお、CFP 算定キットヘインポートするためには「シナリオ定義」というシート名称となっている必要があります。そのため、ヘッダーが変更されているとインポートされませんのでご注意下さい。

3. 申請に必要なデータの入力

3.1 申請書の入力・編集の概要

CFP 算定キットにおける算定と CFP 検証申請書の作成は、以下の3種類のシートに必要な 各種データの入力・編集・生成によって行います。

シートの種類:

- A) 直接入力・編集するシート(CFP検証申請書の(1),(2),(3),(4))
- B) 数値定義シート(数値定義)
- C) 生成されるシート (CFP 検証申請書の(5),(6))

シートの入力イメージ A) 直接入力・編集するシート (1)検証申請書 0 (2)詳細情報<最終財用> (2)詳細情報<中間財用> 編集 (人) (3)マーク表示 編集(人) (4)フロー図 B)数値定義シート C) 生成されるシート (5)データ入力と算出結果 数値定義 下書き生成 (6)データの根拠 -----(プログラム)

「(5)データ入力と算出結果」及び「(6)データの根拠」のシートには直接入力を行わな いでください。入力を行っても「下書き生成」の実行により、入力した内容は全て失わ れます。これらのシートの内容を変更するには「数値定義シート」へ必要な修正を加え て再度「下書き生成」を実施してください。

3.2 各シートへの移動

入力・編集を行う各シートへ移動するにはいくつかの方法があります。

◆ Excel のシート名のタブで目的とするシート名をクリックして移動

I () ▶ 1 22-ト (1) 検証申請書 (2) 詳細情報(最終財用) (2) 詳細情報(中間財用) (3) - ウ表示 (4) つー図 (5) データ入力と算出結果 (6) コマンド | 3] |



◆ スタートのフローチャートの「移動」ボタンをクリックして移動



◆ スタートのメニューのリンクで移動

2-2. 各シートの編集と下書き生成

申請に必要なデータを下 「下書き生成」ボタンを抑 検証等で、申請書で <mark>変</mark> う けを変更することで、効率	「記の「直接編集」シートへ入力してください。 すすと、「数値定義」へ入力されたデータか 厚すべき点が見つかった場合には、必ず、クリ 率的にデータの変更と、申請書の作成をすることか	ック	が生成されます。 出力」を行います。このようにして、最低限必要な箇所だ
			/## #/
編集方法	シート名	アクション	偏考
直接編集します	(<u>1) 検証申請書</u> (<u>2) 詳細情報<最終財用></u> (<u>2) 詳細情報<中間財用></u> (<u>3)マーク表示</u> (<u>4)フロー図</u>	それぞれのシート へ移動して編集を してください	詳細情報表示のカーボンフット ブリント 値とライフサイクル 段階別の内訳については、下書き生成時の計算結果で 上書きされます。
	<u>数値定義</u>		CFP算定用データは全てこのシートへ入力して下さい。
生成	(<u>5)データ入力と算出結果</u> (<u>6)データの 根拠</u>	下書き生成	この2シートへは入力をしないでください。入力をして も下書き生成時に全ての内容が失われます。

各シートへ移動すると以下のポップアップメニューが表示されます。 「<<スタート」をクリックすると、「スタート」シートへ、「<<数値定義」をクリックする と「数値定義」シートへ移動できます。

◆ 各シートで表示されるポップアップメニュー



3.3 A) 直接入力・編集するシートの編集

3.3.1 (1) 検証申請書

このシートは、申請者が、全ての項目を通常の Excel の機能を使用して、直接入力してく ださい。

(記入例)

カーボンフットプリント (CFP) 算定・表示試行事業 カーボンフットプリント算定結果・表示方法検証申請書

<本ページ (表紙) は、関係者 (事務局、省庁、委員、検証員) 情報共有用資料となります>

☑ 新規申請 □ 変更申請	申請日	2011 年	0	月	Δ	Β]
検証申請者の連絡先続	÷]
事業者名	00株式会社						
部署名等	製品環境部						
役職等	部長				事業者名	・申請ネ	者名など各項 📃 🔪
50加な 氏名	たんそ たろう 炭素 太郎				目に直接	入力・約	編集していき
e-mailアドレス	tanso@xxx.xxxx				++		
電話(固定・携帯)	03-1234-xxx						
FAX	03-123 4 -xxxx						
所在地	〒102-xxxx 東京都00区00 △△ビルロ階	JE0-77					
ホームページURL ^(*1)	http://www.tanso>	<u>x xx</u>					
(*1) 検証後、Webサイト 自らのホームペー?	・の「CFPマーク使用計調 ジヘリンクを希望する場合	製品一覧」に本申請書 計には、本欄に記入して	#[(2)詳細情: でください。	報シート	」を掲載するにあ	た以	
添付資料(*2)							
(*2)本申請書以外に補	足説明資料を添付してし	る場合には、資料名料	などを記入し	んてくだき	L1.		-
検証後のW ⊕ b サイト 公開 <u>時期</u> への 要望など ⁽³⁾	当該製品発売がC	月の予定なので新	発売後の公	開を希	望致します		
(*3) 検証後、Webサイトの 公開スケジュールの調 (製品等の発売・広報+画 正当な理由がある場合)	「CFPマーク使用許詳製」 整が必要な場合、その5 jへの影響や、未流通品 □限ります。)	品一覧」に本申請書「() 旨をご記入ください。 の情報を公表すること	2)詳細情報注 による消費者	ノート]を への温話	掲載するにあた! しを避ける等の	Y	-
【注意事項】 ・最新版のPCRに基づいて (CFPホームページ(http:/	計算されていることを必 //www.ofp-ispan.jp/)に	ずご確認下さい。 て最新版PORのダウン	ロードが可能	です。)			

(CFFがたムベージ(Inter/WWW.GFF和anity)にと販売時かりがり少し」 「単位あたり」、「続いあたりの表示を行う場合は、CFF時起におけて、 調整[四時間がかわることがごさいますので子めご了承ください。 (詳細は、「『単位量あたり加機能励たり如のCFPの算定・表示方法について] [http://www.cfm-tapan.jp/regulation/indexhtmlをご参照下さい。)

入力が完了したら	「<<スタート	をクリックして	、スタートに戻ります。
----------	---------	---------	-------------

3.3.2 (2) 詳細情報 < 最終財用 >

CFP マークの使用許諾を得た後ウェブサイトで開示される<最終材用>の詳細情報のシートです。検証申請の対象製品が最終財でない場合にはこのシートを編集する必要はありません。

このシートの各項目の入力・編集は、申請者が通常の Excel の機能を使用して行います。

(記入例)

		詳細情報 <最終財	>	
1 制	只体品	(Webサイト公開資料)		
1.1	検証番号	(申請時には記入不要です)		
	製品名称(日本語)	****		
1.2	製品名称(英語)	ممممم		
1.3	製品型式	AB-0000		
1.4	製品の主要仕様・諸元	サイズ縦Om、横ムm、高さロm 製品重重×××kg		→
1.5	CFP算定単位			3.10 ГГ 异足枯米级恒(芯伊山里)
				ح
2, 事;		#-PAU 0000	/	
2.1	事業者名(日本語)			3.2 内訳の数値(各段階の排出重)
	事業者名(英語)	0000 Go.Ltd.		は数値定義シートで入力した内容が
з. ст	P算定結里お上び表示方法			
	OFP算字結里			- ト 書き 生成に」 よって 反映
3.1	(カーボンフッオブリント)	/ 590kg	ライフサイクル全体	されますので入力しないでください /
	内訳(ライフサイクル段階別) <u>(</u>		
	原材料調達段階	1.31E+02	k a −CO₂e	
	生產段階	6.56E+01	k <mark>i</mark> -CO ₂ e	
3.2	流通段階	9.84E+01	<mark>k</mark> s-CO₂e	
	使用·雜持管理段階	1.31E+02	kg−CO₂e	
	廃棄・リサイクル段階	1.542+02	kg-CO₂e	
-	CFPマークへの表示方法			
	マーク本体	<記載内容>	<表示方法の種別>	
	(必須情報部) の記載内容	590kg	ライフサイクル全体の 002 排	非出重
			<u> </u>	
22				
5.5				
	追加情報表示部 の記載内容	(追加情報表示部へ記載す	る内容をそのまま記入する。)	
				<u> </u>
34	備老			
0.4	6°.Wi			
4. 算: 41		0.0.0.0.17		
42	認定PCRの名称	00-22#		
4.2	認定PCRの番号	XX-XX-XX-00		
43	共通原単位データペース名称	カーボンフットプリント制度試行事業	€CO2換算量共通原単位データ 5)r 20	~~~
44		「智定版	x) ver. 3.0	
	参考テータ通用日	2011年	UЛ×日	

入力が完了したら「<<スタート」をクリックし、スタートに戻ります。

3.3.3 (2) 詳細情報 < 中間財用 >

CFP マークの使用許諾を得た後ウェブサイトで開示される<中間財>の詳細情報のシート です。検証申請の対象製品が中間財でない場合にはこのシートを編集する必要はありませ ん。

このシートの各項目の入力・編集は、申請者が通常の Excel の機能を使用して行います。

(記入例)

		詳細情報 <中間財>	
1 #4		(Webサイト公開資料)	
<u>日 製</u>	検証番号	(申請時には記入不要です)	1
	製品名称(日本語)		
1.2	製品名称(英語)	ممممم	1
1.3	製品型式	AB-0000	
1.4	製品の主要仕様・諸元	サイズ縦Om、横ムm、高さロm 製品重量×××kas	
1.5	CFP算定単位	販売単位 1個	
o #	** =======		3.1CFP 鼻正結果쮫恒(総排出重)
2, #;	兼有府報 事業者久(日本語)	株式会社 0000	٤
2.1	事業者名(英語)	0000 Co.Ltd.	3.2 内訳の数値(各段階の排出量)
з. Ф	で管定結果お上76主示方法		け粉店字美シュートで1カートを内容が
<u></u>	OFP算定結果		は 数 恒 止 我 ン 一 ト じ 八 刀 し に 内 谷 か /
3.1	(カーボンフットブリント)	19/Kg	「下書き生成に」よって反映
	内訳(ライフサイクル段階別		++++ので1+1+いでくだちい
	原材料調達段階		されよりので入力しないでくたさい。
3.2	王座段階	0.00E+01 kg-0_02e	
	流通段) 	0.00E+00 kg-q0 ₂ e	
	使用·維持管理段階	0.00E+00 kg.CO2e	-
	廃棄・リサイクル段階	0.00E+00 Kg-CO2e	
	ロードマークへの表示方法	<記載内容> / <表示方法の種別>	
	マーク本体 (必須情報部) の記載内容		
3.3	追加情報表示部 の記載内容	(追加情報表示部へ記載する内容をそのまま記入する。)	
3,4	備考		
4. 算)	定条件		1
4.1	認定PCRの名称	OO·ムム類]
4.2	認定PCRの番号	XX-XX-XX-00]
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットブリント制度試行事業CO2換算量共通原単位データベース (暫定版)ver.3.0	
4.4	参考データ適用日	2011年〇月×日	
(※)	共通原点にデータベースおよび夢	*考データについては、Webbサイト下記ページ参照のこと。	

http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html

入力が完了したら「<<スタート」をクリックし、スタートに戻ります。

3.3.4 (3) マーク表示

CFP マークの表示に関連する記述のための入力・編集シートです。このシートの各項目の 入力・編集は、申請者が通常の Excel の機能を使用して行います。

(記入例)



入力が完了したら「<<スタート」をクリックし、スタートに戻ります。

3.3.5 (4) フロー図

製品のフロー図に関連する記述のための入力・編集シートです。このシートの各項目の入力・編集は、申請者が通常の Excel の機能を使用して行います。

<記入例(参考:広範囲 PCR (エネルギー使用型製品)、認定 PCR 番号: PA-BQ-01)>



入力が完了したら「<<スタート」をクリックし、スタートに戻ります。

3.4 B) 数値定義シートの編集

3.4.1 数値定義ユーティリティ

「数値定義」シートではデータの入力支援を行うために「数値定義ユーティリティ」ポッ プアップメニューが立ち上がります。

3.4.1.1 ブロック挿入

「ブロック挿入」を実施することで「申請書出力行」など、全部の行の種類を追加するこ とができます。加減乗除、輸送といった比較的よく用いられる入力パターンのまとまった 複数行を一度に「数値定義」シートへ挿入することが出来ます。「シナリオ定義」シートが インポートされていれば、そこで定義されたブロックもシートへ挿入できます。

(1) 数値定義ユーティリティからブロックを選択して挿入します。

◆ 挿入する	るブロックを選択		2. 挿入ボタンをク	リック
数値定義ユーティリテ	1			
定義を展開	ブロック: A× B	▼挿入	入力チェック 下書き生成 フォーマット修復	‹‹ スタート
	プロック: A× B プロック: A+ B プロック: A+ B プロック: A- B プロック: 国内の輸送 プロック: 国内の輸送 プロック: 生産電力(個数配分) プロック: 生産電力(積み上げ)		1. ブロックを選択	>

(2) 選択したブロックが一番下の(最初の空行がある位置)に貼り付けられます。

◆ ブロック挿入前

			LC段	階など				活動量								
行の種類		状態	s	段階	サブタ イトル	ブロ セス 項	目 (補助 項目)	数値名	数値	単位	Т	ビデンス名	区分	計算式種 類	計算式内容	!
									\bullet							
♦ A×I	3 Ø)フ	ブロ	ック	挿入	後			·							
	1	LC段	階など				- 22	10)	活動量	121 3		62	192			
行の種類	状態	5	197	8 2	ブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	救値名	救債	単位	エビデンス名	区分	計算式種	計算式内容	
区切时行	× .															
款值入力行			_			1	3	2	A	1	kg	エビデンス名	-		<u> </u>	-
RIMA ZIT			-						8	2	1週	エビテンス名		C1 66/ 60	fax placer.	
申請書出力行		<u></u>	原材料器	13 8			A×B		A×B	2.00E+00	kg		1次	(値あり)	= (A)1 kg×(B)2個	_

任意の箇所へブロックを挿入したい場合には、Excel 上の操作で空行を追加(挿入したい箇

所の行番号を右クリック>挿入)してから「ブロック挿入」を実行します。

(3) 数値やエビデンス名、LC段階、原単位等を現状にあわせて編集します。



◆ 各値を編集した後の状態

CFP 算定キットに標準で搭載されているブロックには以下のようなものがあります。 (これらのブロックについては、今後のバージョンアップに伴って追加・変更・削除さ れることがあります。)

◆ 行の種類 ブロック

以下のブロックを選択すると、それぞれの「数値定義」シートで使用される「行の種類」 に対応した1行が挿入されます。それぞれの「行の種類」の詳細については3.4.2.1を参照 してください。

- ▶ 未設定行
- ▶ 使用自由行
- ➤ 区切り行
- ▶ エビデンスなし値入力行
- ▶ 数值入力行
- ▶ 申請書出力行(原単位:共通)
- ▶ 申請書出力行(原単位:参考)
- ▶ 申請書出力行(原単位:無し)

◆ 四則演算 ブロック

以下のブロックを選択すると、2つの数値とその四則演算を行った数式と結果が挿入されます。

- ► A×B
- ≻ A÷B
- \triangleright A+B
- ≻ A−B
- ◆ その他 ブロック

CFP を算定する際にいくつかの PCR で共通で利用されているパターンとして以下のよう なものがあります。

▶ 国内輸送

梱包された部品や材料等をトラックで国内輸送することを想定したブロックです。以下の プロセスを対象としています。

- 国内の拠点間のトラックによる輸送
- ▶ 海外からの輸送

梱包された部品や材料等を海外の拠点から国内の拠点まで輸送することを想定したブロッ クです。海外の港から国内の港の距離についてはそれぞれの港の間の距離や国の間の距離 を調べて適用します。以下のプロセスを対象としています。

- 海外の拠点から海外の港までのトラックによる輸送
- 海外の港から国内の港までの船による輸送
- 国内の港から国内の拠点までのトラックによる輸送

▶ 生産電力(個数配分)

1個あたりの生産時の使用電力量を、使用した総電力量を総生産個数へ均等に分けて計算し て求める場合を想定したブロックです。

▶ 生産電力(積み上げ)

1個あたりの生産時の使用電力を、1時間あたりの機器の定格の使用電力と処理個数と歩留 まりから計算して求める場合を想定したブロックです。

▶ 廃棄物 (焼 92・埋 3・リ 5)

「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成 18 年度実績)について」(環境省)を適用し、 処理サイトまでの輸送プロセスを加えてシナリオ化(92%が焼却処理、3%が直接埋立処理、 5%がリサイクル処理)したブロックで、以下のプロセスを対象としています。

- ・ 廃棄物の排出場所から処理サイトまでの輸送
- ・ 廃棄物の焼却処理とその焼却灰の埋立て
- ・ 廃棄物の直接埋立て処理とその焼却灰の埋立て
- ・ 廃棄物のリサイクル準備処理

PCR によっては対象とするプロセス、輸送距離や原単位、割合等がブロックで指定され た既定のものと異なることがあります。これらのブロックについてはあくまでも編集の ベースとして捉え、算定対象の CFP が参照する PCR に準じたものに従って修正してご 利用ください。

3.4.1.2 定義を展開

「プロセス定義」が入力されている場合は、「プロセス定義」で指定された、データ収集項 目が申請書出力行として「数値定義」シートへ転記されます。

この機能を使用するには有効な「プロセス定義」シートがインポートされている必要が あります。「プロセス定義」は PCR によっては CFP 制度試行事業 HP からダウンロー ドすることができる一方、独自に作成・編集することもできます。

数値定義ユーティリラ	न्त	8
定義を展開	ブロック:申請書出力行(原単位:共通) ▼ 挿入 入力チェック 下書き生成 フォーマット修復	<< 28-4
		<u></u>
	クリックすると、プロセス定義の内容を数値定義へ展開します)

◆ 定義を展開前

		LC段	と階など				活動量						
行の種類	状態	s	段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	数値名	数値	単位			
								-					
						-							
◆ 定義を	ミ開	後			•								

		LC段	と階など					活動量		
行の種類	状 態	s	段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	数値名	数値	単位
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	表紙	製造	表紙原材料		表紙原材料	1.00E+00	kg
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	表紙	輸送	表紙原材料		表紙原材料	1.00E+00	tkm
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	表紙	排水処理	表紙原材料		表紙原材料	1.00E+00	m3
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	表紙	廃棄物処理	表紙原材料		表紙原材料	1.00E+00	kg
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	とじ具	製造	とじ具原材料		とじ具原材料	1.00E+00	kg
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	とじ具	輸送	とじ具原材料		とじ具原材料	1.00E+00	tkm
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	とじ具 💂	排水処理	كالم	· _ ++++-)-		É	m3
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	とじ具	廃棄物処	20	セス定義に	- 記載されている	Ś	kg
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	付属品	製造	デー	タが転記さ	れます。		kg
申請書出力行		<u></u>	原材料調達	付属品	輸送	付属品				tkm

この状態をベースに「数値入力行」、「エビデンスなし値入力行」などの追加などを行い、「申 請書出力行」の数値を作成していきます。

3.4.1.3 入力チェック

CFP 算定キットには「数値定義」シートへの入力が完了し、「下書き生成」を実行する前の 段階として入力漏れや単位違い等をチェックする「入力チェック」機能があります。ここ ではこの機能の手順を説明します。

(1) 「数値定義」シートへの入力が完了した時点で「数値定義ユーティリティ」の「入力 チェック」をクリックします。



(2) 入力チェックが実行され、結果(エラーの種類毎の件数)が表示されます。

		LCB	構など					活的党				原单位				
行の種類	状態	4	自用	サブタイトル	70tx	項目	(編成項目)	教師名	教師	单位	Microsoft Excel	29	5	ю	原单位名	数值
申請書出力行	0	<u></u>	NEAR AN AN AN AN	A	AA.	AAA		AAA	1.00E+00	kę		共通	±	6	原油の燃焼	0.28
申請書出力行	×	<u></u>	生產	0					1.00E+00	kg	入力チェックの結果	武道	\equiv	6	原油の増焼	3.28
申請書出力行	0	<u></u>	21 8	c	cc	000		000	1.00E+00	ikg.	未入力 : 3件	共通	\pm	6	原油の燃焼	3.28
申請書出力行	н	<u></u>	使用・输出	D	DD	DOD		000	1.000+00	kg	セルがエラー: 1件 数値でない): 2件	料通	<u> </u>	5	原油の燃焼	2.0
申請書出力行		<u></u>	鹿鹿・リサイク)	C	EE .	666		EEE	あ	he .	単位の不一致 : 2件	#i#	=			
医切纳室											■ 共通原単位未選択 : 1件					
救備入力行	0							輸送物重量	1.00E+00	RE	二 不適切な段階名称:0件					
教師入力行	0							穩包材重量	2.00E+00	H R						
エビデン スなし値入 カ行	0							1000	1.00E+03	he/1						
教備入力行	0							輸送評論	5.00E+02	kum.	入力エラーのある行の状態には赤で「×」がつき、					
申請書出力行	×	1:	M PERSON A			トラック輸送 トンキロ		トラック輸送トンキロ	#REF!	kz	セルが名でハイライトされていますので侍正をしてください。 OK	лія	-	777	トラック輸送(4ト ン室:検護室 508)	0.3248555

エラーが一つでもある行は状態欄が「×」と表示され、下書き生成を行ってもこの行の内容は申請書へは反映されません。エラーの内容とセルの色の対応は以下の通りです。

表示色	エラー名称	エラー内容	対応
	未入力	入力が必要なセルに情 報が入っていない	必要な情報の入力
	セルがエラー	#VALUE!などセルがエ ラーになっている	数式等のエラーの要因 を解消する
	数値でない	数値が入るべきところ に入っていない	数値を入れて修正する
	単位の不一致	活動量と原単位の単位 が一致していない	原単位・活動量いずれか の単位を修正する
	共通原単位未選択	共通原単位が選択され ていない	「s」「id」欄より共通原 単位を選択する
	不適切な段階名称	段階名称が所定の5段 階に該当していない	セルのプルダウンで段 階名を選択する

(3)修正後、再度入力チェックを実行し、入力エラーがないことを確認してください。 全てのエラーを解消すれば下記のメッセージが表示されます。



3.4.1.4 下書き生成と GHG 排出量の割合の表示

「下書き生成」の実行により数値定義にて入力した情報が「(5)データ入力と算出結果」シ ート、「(6)データの根拠」シートへ反映され、段階別の排出量の内訳とカーボンフットプリ ント値についても「(2)詳細情報<最終消費財>」「(2)詳細情報<中間財>」シートに反映さ れます。ここでは「下書き生成」の流れを説明します。

「下書き生成」イメージ図
 (5)データ入力と算出結果
 (6)データの根拠
 (6)データの根拠
 (2)詳細情報<最終消費財>
 (2)詳細情報<中間財>

「下書き生成」の前には自動的に「入力チェック」が実行されます。「入力チェック」で エラーがある状態の行は「下書き生成」を実行しても出力対象となりません。

(1) 「入力チェック」が完了した時点で「数値定義ユーティリティ」の「下書き生成」を クリックします。

数値定義ユーティリティ				23
定義を展開	▼挿入	入力チェック 下書き生成	フォーマット修復	<< 28-4
	\langle	「下書き生成」を	クリック	>

(2) 「下書き生成」が実行され、「(5)データ入力と算出結果」シート、「(6)データの根拠」 シートへ「数値定義」シートで入力した情報が反映されます。

1. 7-9.	ヘルに昇出税	っ未の	16未常道										非公開資料				
※) 算定にあ 最新のフ; 「認定F 「共通得	たっては、必ず最 ァイルは、下記UI PCRJ 興単位データベース	新の「W RLより R」「参	認定PCR」「共通)ダウンロードでき 考データー覧」	観察単位データ きます。 http://ww http://ww	マベース. w.ofp-i w.ofp-i	j Γ∰≣ apanj apanj	≝データ b/calo b/calo	ター覧」を用いてく ulate/authorize/r ulate/verify/data	ください。 par.php uhtml						1	٦٠,	
			洋動具の反公						臣崩	位不反公							<u>\</u> .
	1.4		由連邦の主任で	1101年1 1-347/市				#128	かい年 サン商店	国のとカ	-70	原 甾位			Engint H		`
	1/X				*			大連	大通の	「半位」「チベ	- X0) *	の手位		1	DOMENT F		1
	20		A VIENE 120-1 120-1		- 25/m			5575 1001			577. Satisfiant	ンペルートロ hi たねらし かり		1	10%151 -		1
	22	C R	者が作成したショー	*を訪らして集曲し オ第1月10日第一日	た数値			U	W+EC2101	200983 (0 10199 2)		Solowen ac		1	FORMER L		
1) 頂材料調法	<u> 23</u> 慶勝		* [活動量]の数6		test to a	」 (まです											
1724191412132	42.95		*1/21/12/10/2011	ala, on nagic	real or a	; ∠ (9	•							/	IMEAL		
サブ	70474		1	动量					原単位			CO2e	13 at				
<u> </u>	JUEXE	区分	項目名	数值	単位	参照	区分	原単位名	数值	単位	参照 箇所	kg	ш 5		影響到合	段婚内到合	LC内割合
サブタイトルA	7022AA	1次	7022444	3.66E+00	ke	A1	共通	発泡ボリスチレ	1.95E+00	kg-CO2e/kg	B1	7.14E+00	1			93.58%	23.19
サブタイト山崎	ブロセフ納洋		(補助項目A) プロセス輸送		_	-		ン(EPS) トラック輸送(4			-						
送A 送A	AA	1次	AAA(補助項目 動送A)	1.50E+00	tkm	<u>A2</u>	共通	トン車: 後裁率 50%)	3.25E-01	kg-C02e/tkm	<u>B2</u>	4.88E-01	 			6.40%	1.59
ተ	it.											7.63E+00			24.789		
2)生産衰晒																	
#- 1		活動量							原単位			CO2e					
タイトル	プロセス名	区分	項目名	数值	単位	参照 箇所	区分	原単位名	数值	単位	参照 箇所	kg	留考	V	影响到合	联新内别合	LC内割合
E産電力サブタ イトルM	生産電力プロセ スMM	1次	生産電力項目 MMM(生産電力 補助項目MMM)	2.00E+00	kWh	<u>A3</u>	共通	公共電力	4.79E-01	kg-G02e/kWh	<u>B3</u>	9.58E-01		1		10.27%	3.119
E産電力サブタ イトルN	生産電力プロセ スNN	1次	生産電力項目 NNN(生産電力 補助項目NNN)	1.20E+00	k₩h	<u>A4</u>	共通	公共電力	4.79E-01	kg-G02e/kWh	<u>84</u>	5.75E-01				6.16%	1.879
E産水使用サブ タイトルロ	生産水使用プロ セス00	1次	生産水使用項 目000(生産水 使用補助項目 000)	2.00E+00	m3	<u>A5</u>	共通	上水道	3.48E-01	kg-CO2e/m3	<u>B5</u>	6.0				7.46%	2.269
主産時ガスサブ タイトルP	生産時ガスプロ セスPP	1次	生産時ガス項目 PPP(生産時ガ ス補助項目	2.00E+00	kş	<u>A6</u>	共通	都市ガス134 燃炉			~					76.10%	23.069
ተ	it .								7+77	ICE	几时	T د			30,309		
3)流通段階								/ /		, LU F	又中白						
#7			78	動量			$\square 7$	友口	n. 744								
97 971-16	プロセス名	区分	項目名	数值	単位	参照 笛所	R:	谷县	贫階内	·(*(1)			1 **		影響到合	段暂内到合	して内割合
設品輸送サブタ イトルL	製品輸送プロセ スLL	1次	製品輸送項目 LLL(製品輸送 補助項目LLL)	1.50E+00	tkm	<u>A7</u>	#¥	GE	IG 排出	出量の割	削合	が		1		100.00%	1.5.99
		1	1		1	1	1	\ 表	示され	ます				<u>ا</u> ا			/
									1. C 40	\sim /			/				

◆「下書き生成」後<(5)データ入力と算出結果シート>

下書き生成後<(6)データの根拠シート> #公開資料

普遍 デ曲型 デ曲型 データス系方法 (出所、作成方法) (出来) (出来) (出来) (出) (出) (出) (出) (!)	公開資料
新数 「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	
A 活動素 (考慮1) 40.2 (第40年)、20366F-004年 = (原目A33.06年 (法留表り定)0.92至) WBAC体積 度者度目446.2 (目446.253)66F-004年 = (原目A33.06年 (法留表り定)0.92至) WBAC体積 度者度目446.253 B1 原産位 Xiaga重位 (本30年)24(25-2)-(EPS) Xiaga重位 (h:5)-291(3)-156F-004m = (原目A463:±±)3/6× (国内距离)500km + (1000)1,000/6/1 NIAE (h:5)-291(3)-156F-004m = (原目A463:±±)3/6× (国内距离)500km + (1000)1,000/6/1 NIAE (h:5)-291(3)-156F-004m = (原目A463:±±)3/6× (国内距离)500km + (1000)1,000/6/1 NIAE (h:5)-291(3)-156F-004m = (原目A463:±±)3/6× (国内距离)500km + (1000)1,000/6/1 NIAE (h:5)-291(3)-157F-157F-157F-157F-157F-157F-157F-157F	(要に応じて) シス資料、説明資料の名称
日 原準位 共通原並位 共通原並位 日 汚わま (株式市人地)を至いた(Pers) A18.2 日 汚わま (体育用14m)を空 A18.2 日 汚わま (体育用14m)を空 A18.2 日 第二日 (本市会社)とす(D1)50E+001%m=(原料4M)を空(D1)50E+001%m=(1000)1.0001/1 A18.2 日 第二日 (本市会社)とす(D1)50E+001%m=(原料4M)を空(D1)50E+001%m+(1000)1.0001%/1 A18.2 日 第二日 (本市会社)と支(D1)50E+001%m=(名(日前総力)2)1.00E+04/Wh/年+(経生産創業)5.00E+03.8/F (本市会社)の生産時の電力別使M012.00E+00.4/Mh = (本間総増売力)2)1.00E+04/Wh/年+(経生産創業)5.00E+03.8/F 生産売業(D1)年(D1)(D1)(D1)(D1)(D1)(D1)(D1)(D2) 日 活動ま (1番売上)の生産時の電力別使M11.20E+00.4/Mh = (本間総増電力)5.00E+03.8/F 生産売業(D1)(D2)(D2)(D2)(D2)(D2)(D2)(D2)(D2)(D2)(D2	
品 市舎数 常舎数目+細注差 (1号2) ハ目泉 (1号2) ハ目泉 (1号2) ハ目泉 (1号2) ハ目泉 (1号2) ハ日泉 (1号2) ハ日 (1号2) ハ日 (1 号3) ハ日 (1 号3	
B2 無単位 共通原単位 共通原単位 62 活動量 (1個あたりの生産時の電力機械M)200E+00KMh=(年期経電力量)100E+04KMh/年+(経生産創業)500E+03個/年 使力明細2010年1月~10, 生産支援2010年1月~10, 年間2010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1月~10, 年間3010年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110年1 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年11110 年1111	lat.
A3 活動量 (1個あたりの生産時の電力機械M) 2.00E+00KM = (年福祉電力量) 1.00E+04KM /年 (1位生産創業) 5.00E+03 個/年 使力明細2010年1月~12, 生産素類2010年1月~13, 素類2 (株型物理量中12,2024年(成素物量量)2,2044×(統細3種)6,314K+(1001100K) Number of the start のたい 2,71,7	
B2 原車位 公共売力 共通原単位 共通原単位 共通原単位 A2 活動量 (1 國系化)均生産時の電力機械N)120E+006Wh = (年間経電力量)5.00E+03KM/年 + (経生産個数)5.00E+03個/年 単力明確2010年1月-(1) 生産業度2010年1月-(1) B3 原車位 公共売力 大道原単位 共通原単位 A5 活動量 (1 國系化均少生産時の水度用量)2.00E+00km3 = (年間経力定力)2.00E+04m3/年 + (経生産個数)5.00E+03個/年 単力明確2010年1月-(1) 生産業度2010年1月-(1) B5 原車位 共道原単位 共道原単位 共道原単位 A5 活動量 (1 國系化均少生産時の水度用量)2.00E+00km3 = (年間経力2度)1.00E+04m3/年 + (経生産個数)5.00E+03個/年 単力明確2010年1月-(1) B5 原車位 共道原単位 共道原単位 単力明確2010年1月-(1) B6 活動量 (1 國系化均少生産時の売力)2.00E+00ke = (年間経力2度)1.00E+04ke/年 + (経生産個数)5.00E+03個/年 単力明確2010年1月-(1) B6 原車位 共道原単位 共道原単位 生産業展2010年1月-(1) B7 (1 国系化位 計画度単位 単力(1) 生産業展2010年1月-(1) B7 (1 国馬売位) 共道原単位 単力(1) 生産業展2010年1月-(1) B7 (1 国馬売位) 第日 1.00E+014m 第日 B7 原原生 (1 国馬売位) 第日 2.11/1 2.12/1/2 B7 原原生	月~12月 月~12月
Adil 活動量 (1個点や均の生産時の電力機械N)120E+006xMn=(年期話電力量)600E+031kMn/年+(話生產個数)500E+03個/年 使力明温010年1月~10, 生産支援2010年1月~10, 生産支援2010年1月~12, 生産支援2010年1月~13, 年春(1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,	
193 原車位 共通原単位 共通原単位 共通原単位 645 活動量 (1 個高人均均生産時の水使用量)2.00E+00m3 = (年間結为/使用量)1.00E+04m3/年+(結生産個数)5.00E+03個/年 生変異(2010年月,1-12) 195 原車位 共通原単位 共通原単位 105 原車位 共通度単位 生成量 105 原車位 共通原単位 共通原単位 106 活動量 (1 個面人均均生産時の電力)2.00E+00ke = (年間結力ス型)1.00E+04ke/年+(結生産個数)5.00E+03個/年 生力調整(0 に目の第 106 活動量 (1 個面人均均生産時の電力)2.00E+00ke = (年間結力ス型)1.00E+04ke/年+(結生産個数)5.00E+03個/年 生力調整(1 目の)2.00E+01年 106 「活動量 (1 個面人均生産時の電力)2.00E+00ke = (年間結力ス型)1.00E+04ke/年+(1 低生産個数)5.00E+03個/年 生力調整(1 目の)2.00E+01年 107 活動量 (「中国人均生産(1 小型)1.00E+00km = (第 価額 量量)2.02ke/(1 回)1.000ke/t = (1 回)1.000ke/t ジフリオ 108 原車位 大道原電位 共道原単位 共道原単位 108 原車位 共道原電位 大道原重産 大道原重位 108 原車位 共通調整位 スピーク スピーク 108 原車位 共通調理量(1 - 2 = 1 通 スピーク スピーク 108 原車位 大道画量 スピーク スピーク 108]~12月]~12月
各話 「訪加量 (1 個面A-b/uの生産時の水使用量)2 00E+00m3 (年間結水使用量)1 00E+04m3/年+((結生産個数)5 00E+03 個/年 使力明慮2010年1月~12, 生産業種2010年1月~13, 生産業種2011年1月~13, 生産業種2011年1月~13,	
155 原単位 共通原単位 共通原単位 共通原単位 66 活動量 (1電影 たりの生産時の電力)2.00E+00kg = (年間はガス型)1.00E+04kg/年+(経生産電型)5.00E+03個/年 単力明認010年1月~10 155 第二方 (1.2.60)加加 単力明認010年1月~10 生産業課2010年1月~10 155 原集位 大道原重位 共通原重位 62 活動量 (トラッ和論と)・1 年間編出) 150E+001km = (製品量量に)3kg×(国内)距離) 500km + (1000) 1.000kg/t ジオ) ける 162 無単位 大道原重位 共通原重位 17.00 大道康重位 大道原重位 大道原重位 18.0 (使馬物価型力を用量1)100E+01kMn = 2 ビビデンス名 18.0 原集位 大道原重位 大道原重位 18.0 (使馬物価型力220kg×(1000) 1000kg/t×(廣高物論出影響) 100km ジオ) ジ 19.0 原車位 大道原重位 共通原重位 10.0 活動量 (株面別地理査力2.20kg×(1000) 1000kg/t×(成高輪脳話距離) 100km ジナ) ジェ 10.0 原業位 大道職重査位 大道職重査位 11.0 活動量 (株面別地理査力2.20kg×(14面別地理の自由) 20kg×(1000) 1000kg/t×(100) 1000kg/t×(100) 100kg/t×(100) 1000kg/t×(100) 1000kg/t×(100) 1000kg/t×(100) 100kg/t×(100) 1000kg/t×(100) 100kg/t×(100)	1~12月 1~12月
合動 活動量 (1番魚へとりの生産時の電力)200E+00kg = (年間結抗ス量)100E+04kg/年+(経生産増数)500E+03億/年 電力(14)34,014 100 席車位 計画質位 出資原質位 出資原質位 101 活動量 (150年/04/2) 150E+004kg = (1000) 1000E+04kg/年+(経生産増数)500E+03億/年 生産要求(21)342 102 原車位 計画算直位 出資原質位 日本 日本 10001/1000kg/1 95/15/16 102 原車位 大道原重位 日本 日本 10001/1000kg/1 10001/1000kg/1 10011/1000kg/1 10011/1000kg/1 10011/1000kg/1 10011/1000kg/1 10011/1000kg/1 10011/1000kg/1 1001/1000kg/1 1	
135 原準位 共通原単位 共通原単位 22 活動業 (トラック輸送トンキロ製品)150E+001km=(製品重量)3kg×(国内張麗)500km÷(1000)1.000kg/t 製品仕賃書 23 活動業 (トラック輸送トンキロ製品)150E+001km=(製品重量)3kg×(国内張麗)500km÷(1000)1.000kg/t 製品仕賃書 24 活動業 (トラック輸送トンキロ製品)150E+001km=(製品重量)3kg×(国内張麗)500km÷(1000)1.000kg/t 製品力のロク ワクロシリリス製品力のロク 25 原単位 大道原単位 大道原単位 26 活動業 (健長物輸送トンキロG)0.02 km=(点病物量量)2.20 kg×(1000)1000 kg/t×(点病物輸送記載)100 km 製品力のロク 29 振算位 大道原単位 共通原単位 29 活動業 (機高物量)2.20 kg×(1000)1000 kg/t×(点病物輸送記載)100 km シテレック 20 活動業 (機高物量)2.20 kg×(1000)1000 kg/t×(点病物量)100 km シテレック 20 活動業 (快振物量)2.20 kg×(1000)1000 kg/t×(点病物量)100 km シテレック 210 原単位 大道原単位 共通原単位 2110 大道原単位 共通原単位 ション 2110 「加工 共通用量位 共通用量位 2111 小道原単位 (建立地理量量)2.20 kg×(僅立池理画型)2.20 kg×(僅立池理画型)2.20 kg×(僅立池理画型)2.20 kg×(1000)100 kg/t×(100)100 kg	~12月 ~12月
品価 活動量 (トラック輸送トンキロ製品)150E+001km=(製品重量L)3kg×(国内範備)500km+(1000)1,000kg/t 製品価値 82 原車位 大道原単位 タブリガム 82 原車位 トラック輸送トシン車(装装=50K) 共道原単位 62 活動量 (使用時電力の構成)1,000kg/t 共道原単位 7.500 (使用時電力の構成)1,000kg/t 共通原単位 20 原車位 大道原単位 工ビデンス名 20 原車位 大道原単位 共通原単位 20 活動量 (債業物輸送トンキロG)0.024km=(債業物量量)2.20kg+(1000)10.00kg/t×(債業物輸給活業員)100km 製品力207 20 活動量 (債業物輸送トンキロG)0.024km=(債業物量量)2.20kg+(1000)10.00kg/t×(債業物輸給活業員)100km ジブリカ 20 原車位 大道原重位 共道原重位 10 活動量 (休却効理亜量力)2.20kg×((検却効理の割合)9.2k+(100)100K ジガリカ 201 原車位 共通原単位 共通業価位 2010 文力は 支出力目の ジブリカ 2010 原車位 共通原単位 2011 原動加加加 ジブリカ ジガリカ 2011 原動加加加 ジガリカ ジーレー 2012 原産位	
B2 原単位 共通原単位 共通原単位 A2 活動型 (使用場位力度用量)100E+01KMh = 2 エビデンス名 B2 原単位 共通原単位 大道変 B2 原単位 共通原単位 大道変単位 C42 活動型 (使用物値力度用量)120E+01KMh = 2 エビデンス名 B2 原単位 共道原単位 大道原単位 A2 活動量 (使用物値)2+DE1030224mm = (使用物量量)2.20kg + (1000)1000kg/t×(度高物輸送距離)100km ジナリオ B2 原単位 大道原単位 大道原単位 A10 活動量 (使加加理量量)12.00kg × (修加加速量)2.20kg × (修加加速型の計画)2.20kg × (修加加速型の計画)2.20kg × (1001100K) ジナリオ A11 活動量 (建立加理量量)10.31kg = (使用物量量)2.20kg × (僅立加速量の割合)14kg + (1001100K) ジナリオ	カタログ
通数量 (使用場合効素用量)120E+01KMh=2 エビデンス名 エビデンス名 エビデンス名 服 「「「「「「」」」 「「」」	
B2 原単位 共通原単位 共通原単位 A2 活動量 (農業物輸送トンキロG)0224cm=(債業物量量)2204g+(1000)10004g/1×(債業物輸送評量)1004cm 製品力20グ B2 原単位 共通原単位 シナリオ B2 原単位 共通原単位 共通原単位 A10 活動量 (休部効理量量)12024g=(債業物量量)2204g+(1000)10004g/1×(債素物輸送評量)1004cm 製品力20プ B2 原単位 大道原単位 共通原単位 A10 活動量 (休部効理一使農業物) 製品力200g B10 原単位 共通原単位 単品力2024g=(債業物量量)2204g×((地部効理の創会)924g+(100)1004 シナリオ B11 活動量 (健立効理量量)10.014g=(債業物量量)2.204g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量量)2.054g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量量)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量量)2.04g×(僅立効理量型)2.04g×(僅立効理量量)2.04g×(僅立効理量)2.04g×(僅立効理量)2.04g×(僅立効理量)2.04g×(僅立効理量)2.04g×(僅立効理量)2.04g×(僅立効理量)2.04g×(
A2 活動量 (廣集物輸送トンキロG)0224mm = (廣集物量量)2204g+ (1000)10004g/t×(廣集物輸送評量)1004mm 製品力20グ シナリオ、製品力20プ B2 原単位 注道原単位 上道原単位 注道原単位 A10 活動量 (休部効理量量1)2024g= (廣集物量量)2204g×(1000)10004g/t×(角集物輸送評量)1004m 製品力20プ B2 原単位 たランの輸送(ホン)量:(装載室50K) 製品力20プ A10 活動量 (休部効理量量1)2024g= (廣集物量量)2204g×(16部効理の創合)92K+(100)100K シナリオ B10 原単位 注道原単位 株部効理(一般廣集物) A11 活動量 (星立効理量量)10.314g= (廣集物量量)2204g×(種立処理の割合)14K+(100)100K シナリオ	
B2 原単位 共通原単位 共通原単位 トラック第近(4トン)車:経載室50K) 共通原単位 A10 活動量 (株加処理量量/02.00ke=(廃棄物量量)2.20ke×(株卸処理の割合)92K+(100)100K シブリオ D10 原単位 大道原単位 カログ D11 原単位 株卸処理(一般廃棄物) 共道原単位 A11 活動量 (建立処理重量)0.20ke=(廃棄物重量)2.20ke×(建立処理の割合)14K+(100)100K シブリオ A11 活動量 (建立処理重量)0.031ke=(廃棄物重量)2.20ke×(建立処理の割合)14K+(100)100K シブリオ	59Dグ
A10 活動量 (株加処理重量1/2024c=(集業物重量)2204c=×(株加処理の割合)92%+(100)100K 製品カウログ D10 原華位 共通原単位 大道原単位 サロクションリス B10 原華位 共通原単位 大道原単位 共通原単位 A11 活動量 (建立処理重量1)2324c= (集査処理重量)2204c× (建立処理重量)2204c× (単立処理重量)2204c× A11 活動量 (埋立処理重量)10314c= (農業物重量)2204c× (埋立処理重量)204c× (単立処理重量)2204c×	
取10 原単位 検部処理(一般現実物) 共通原単位 共通原単位 A11 活動量 (建立処理重量)0.31kg=(廃実物重量)2.20kg×(建立処理の割合)14k÷(100)100K 製品カウログ シナリオ	hタログ
All 活動量 製品の知道 製品の知道 製品の知道 製品の知道 製品の知道 シングリング シングリング シングリング シングリング シングリング シングリング シングリング シング	
PUR2 J 14, 製品が212	59D7
B11 原单位 共通原单位 共通原单位 埋立処分(一般廃棄物) 共通原单位	
A12 活動量 (リサイクル準備重量の031kg=(廣棄物重量)220kg×(埋立処理の割合)14K+(100)100K 製品カタログ 製品カタログ シナリオ PCRウナリオ、製品カタログ シナリオ シアリオ シアリオ シアリオ シアリオ	59D7

◆ GHG 排出量の割合の表示

「下書き生成」を実施した後の「(5)データ入力と算出結果」シートには GHG 排出量の割 合が表示されます。これによりライフサイクル内での重大な排出源の把握がしやすくなり ます。この情報はこの後の最終的な CFP 検証申請書を生成した際にはそちらの「(5)データ 入力と算出結果」シートには反映されません。

名称	記載内容
段階割合	各 LC 段階毎の排出量合計が全 LC 段階の排出量合計に占める割合
段階内割合	ある排出源が各 LC 段階での排出量全体に占める割合
LC 内割合	ある排出源が全 LC 段階の排出量合計に対して占める割合

	対象に	対して占め	る割合	
50%	20%	10%	5%	1%
以上	以上	以上	以上	以上

この GHG 排出量の割合の数値は有効桁数の取扱いにより小数点レベルで数値が若干前後し、合計が 100%とならないこともあります。

3.4.1.5 フォーマット修復

誤操作などで色や罫線、数式やデータ入力規則などフォーマットの形式が乱れてしまった 箇所の修復を行います。計算式の修復は入力チェックや下書き生成の時にも行われます。

修復の際に数値定義シートの入力内容を失うことがありますので、バックアップを作成してから、修復を進めることが推奨されます。

以下のセルについては入力内容が数式またはハイパーリンクへ上書きされます。

- ・ 申請書出力行の s 列(LC 段階、原単位)の値
- 申請書出力行の数値名
- 申請書出力行で共通原単位が選択されている場合の、原単位名、数値、単位
- 申請書出力行の計算式内容

セルの書式やパターン等は行の種類に対応したもので一律に上書きされます。

◆ 修復前

						活動量	-							原単位			
行の種類	状態	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	数值名	数值	単位	エビデンス名	区分	計算式種 類	計算式内容	備考	区分	s	id	原単位名
区切り行																	
数值入力行						輸送物重量 🦢	1.00E+00	kg	エビデンス名								
数值入力行						相包材重量	2.00E+00	lkg	部品力タログ								
数值入力行						同梱個数	2.00E+01	18				-					
エビデンスなし値入 力行						1000	1.00E+03	kø/t									
数値入力行						A											
申請書出力行		表紙	原材料輸送	トラック輸送 トンキロ										共通	-	77	#N/A
						-		-			_		-				



		_																	
		LCE	連など					活動量								原単位			
行の種類	状態	4	1978	サブタイトル	プロセス	项目	(補助項目)	数值名	数值	雕位	エピデンス名	区分	計算式種 類	計算式内容	编考	区分	8	id	原单位名
区切时行																			
鼓信入力行				_	_	_		輸送物業量	1.00E+0) kg	エビデンス名								
鼓信入力行	_							相包材重量	2.00E+0) kg	部品力タログ								
数值入力行	_								2.005-0	-	Broom/942/2	_							
エピテンスなし値入 力行									000 1.00E+0	kø/t									
数值入力行							· · · · · ·											-	
申請書出力行			<i>I</i> RAA KAIRG≜	表紙	原材料輸送	トラック輸送 トンキロ		トラック輸送トン・	+ □							,共通	4	77	トラック輸送(4ト ン庫: 積載率 50%

3.4.2 各項目の説明·解説

ここでは「数値定義」シート上の各項目についての説明・解説を行います。

3.4.2.1「行の種類」の項目

行の種類の列のセルをアクティブにするとセルのプルダウンで行の種類を選択することが できます。行の種類によって入力・編集領域がそれぞれ異なります。

行の種類を変更するとその行にそれまで入力した内容は失われますので申請書に項目を 追加する際には必ず行の種類を選択後に入力を開始してください。

◆ 行の種類について



◆ 各行の種類毎の入力・編集可能な項目

		LCB	を暗など					活動重							
行の種類	状態	s	段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	數値名	数值	単位	エビデンス名	区分	計算式種 類	計算式內容	備考
未設定行															
使用自由行															
区切り行															
エビデンスなし値入								4	1.00E+00	ke					
力行								^	1.502.00						
数值入力行								A	1.00E+00	ks	エビデンス名				
申請書出力行		<u></u>	厧材料 譋逹	表紙	輸送	表紙原材料		表紙原材料	1.00E+00	kg	エビデンス名	1次	自動(数 値あり)	(表紙原材料) 1.00E+00kg= 1.00E+00kg	表紙の備考

それぞれの行の種類について説明します。

♦ 申請書出力行

申請書の「(3)データ入力と計算結果」シート上へ出力される行です。

「数値入力行」、「エビデンスなし値入力行」、等の数値・計算を踏まえた活動量及び原単位の数値によって項目毎の GHG 排出量を算定し、表示する行です。

◆ 数值入力行

重量、面積、歩留まり率など実数値を入力する行です。 活動量計算時の構成要素となる数値で、この数値の根拠を示すエビデンスが存在する行を 指します。

◆ エビデンスなし値入力行

例えば二酸化炭素の分子量など、エビデンスを要さない自明なものを入力する行です。活動量計算時の構成要素となる数値で、エビデンスがなくてもよい行を指します。

◆ 区切り行

ブロックや LC 段階の区切りなどに使用する行です。 計算には使用されないため、数値等は入力できません。

◆ 使用自由行

上記のいずれにも分類不可な数値等があった際に使用します。

◆ 未設定行

上記のいずれにも設定されていない行を指します。

3.4.2.2「状態」の項目

後述する入力箇所の抜けや活動量・原単位の使用単位等の一致状況を確認する「入力チェ ック」機能を利用した際の結果が表示される項目です。



○が出ている行はチェックの結果、エラーがないとされた行、
 ×が出ている行は記述に誤りがあるために修正が必要であると判断された行です。
 ×の行の記述を修正しないとその行は「下書き生成」時に出力されません。

38

3.4.2.3「LC 段階」の各項目

LC段	階など				
	段階 🚽	サブタイトパー	プロセフ <mark>、</mark>	項目	(補助項目、
<u></u>	原材料調達	表紙	製造	表紙原材料	
<u></u>	原材料調達	表紙	輸送	表紙原材料	
<u></u>	原材料調達	表紙	排水処理	表紙原材料	
<u></u>	原材料調達	表紙	廃棄物処理	表紙原材料	
<u></u>	原材料調達	とじ具	製造	とじ具原材料	
	原材料調達	とじ具	輸送	とじ具原材料	

◆ 「s」欄

この列の「…」部をダブルクリックすると「プロセス定義」シートの内容を呼び出し、段 階、サブタイトル、プロセス、項目欄に反映させることが可能です。詳しくは後述の「3.4.3.1 プロセスの選択」を参照してください。この機能は有効な「プロセス定義」シートが存在 している場合に使用可能です。

◆ 段階

LC 段階の名称をセルのプルダウンより選択します。誤った LC 段階名は入力できないよう にデータ入力規則がかかっています。

ここへ記入した内容は「(5)データ入力と算出結果」のLC段階へ反映されます。

◆ サブタイトル

LC 段階の対象サブタイトル項目を入力します。(記入例:表紙、留め具、PS 版、インクなど)

ここへ記入した内容は「(5)データ入力と算出結果」のサブタイトルへ反映されます。

◆ プロセス名

サブタイトル項目のどのようなプロセスかを入力します。(記入例:製造、輸送、排水処理 など)

ここへ記入した内容は「(5)データ入力と算出結果」のプロセス名へ反映されます。

◆ 項目名

活動量の項目の名称を入力します。(記入例:表紙原材料、インク原材料、ペン先原材料、 ファスナー原材料など)

ここへ記入した内容は「(5)データ入力と算出結果」の活動量の項目名へ反映されます。

◆ 補助項目名

活動量の項目の名称の補助的な内容を入力します。(記入例:材質A、70×30 cmサイズ、L サイズなど

「(5)データ入力と算出結果」の活動量の項目名へ()付きで反映されます。

3.4.2.4 「活動量」の各項目

		LC≨	母階など					活動量							
行の種類	状態	s	段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	數値名	數値	単位	エビデンス名	区分	計算式種 類	計算式内容	備考
区切り行															
数值入力行								輸送物重量	1.00E+00	kg	エビデンス名				
数值入力行		_						梱包材重量	2.00E+00	kg	部品力タログ				
数值人力行	_	-						同個相關	2.00E+01	個	部品力タログ				
エビテンスなし他人								1000	1.00E+03	kø/t					
数值入力行		-						輸送距離	5.00E+02	km	エビデンス名				
申請書出力行			原材料调速	表紙	原材料輸送	トラック輸送 トンキロ		トラック輸送トンキロ	5.50E-01	kg		1次	自動(数 値あり)	(トラック輸送トンキロ)550E-01kg= ((輸送物重量)100E+00kg+(相望) 100E+00kg+(相望) 対重量)200E+00kg (前相個微灯) 200E+01個)×(輸) 送距離) 500E+02km÷ (1000) 100E+03kg/t	

◆ 数値名

各数値の構成名称を入力します。

ここへ記入した内容は「(6)データの根拠」のデータ入手方法欄に反映されます。

(記入例:部材A投入量、部材A歩留まり、部材A投入量、製品B輸送量

廃棄物焼却処理の割合、製品 C 輸送量(トンキロ)など)

♦ 数値

各項目の構成要素の数値又は数式を入力します。

なお、比率%(割合)は予め小数で表示しておくと小数に直す行が減り、簡潔にできます。 (70%は 0.7 として入力する)

(記入例:0.70、21.4、=O23+O24、=O23/O24)

ここへ記入した内容は「(6)データの根拠」のデータ入手方法欄に反映されます。

また、申請書出力行の場合は「(5)データ入力と算出結果」の活動量欄にこの数値が反映されます。複数の数値から構成される申請書出力行の数値の場合に、数式を設定しておくと、 その数式が参照する数値と数値名を解析し、計算式を自動生成します。

◆ 単位

各項目の構成要素の単位を入力します。(記入例:kg、kWh、tkm、%、MJなど) ここへ記入した内容は申請書出力行以外の場合は「(6)データの根拠」のデータ入手方法欄 に反映されます。申請書出力行の場合は「(5)データ入力と算出結果」の活動量の数値欄に この数値が反映されます。

◆ エビデンス名

各項目のエビデンス名称を入力します。

(記入例:生産月報、製品仕様書、認定 PCR xx-xx-xx シナリオなど) ここへ記入した内容は「(6)データの根拠」のエビデンス名称欄に反映されます。

◆ 区分

活動量のデータ区分をセルのプルダウンから選択します。内容は以下の通りです。

シ1 PCR のシナリオで算出した数値 シ2 PCR のシナリオと1次データ等を併用して算出した数値 シ3 事業者が作成したシナリオ等より算出した数値	1次	申請者の責任で収集した数値
シ2 PCR のシナリオと1次データ等を併用して算出した数値 シ3 事業者が作成したシナリオ等より算出した数値	シ1	PCR のシナリオで算出した数値
シ3 事業者が作成したシナリオ等より算出した数値	シ2	PCR のシナリオと1次データ等を併用して算出した数値
	シ3	事業者が作成したシナリオ等より算出した数値

※CFP 検証申請書 (5)データ入力と算出結果から引用

ここへ記入した内容は「(5)データ入力と算出結果」の活動量欄に反映されます。

◆ 計算式種類

数値欄に計算式を用いた上で算出した数値の詳細をどう表現するかをセルのプルダウンか ら選択します。ここへ記入した内容は「(6)データの根拠」データ入手方法欄に反映されま す。

計算式種類:

- ① 自由記述⇒自分で自由に計算式の内容を記載します。
- ② 自動(数値あり)⇒用いた数値と数値名が表示された状態で「データの根拠」シートに記載されます。

自動(数値あり)時の表示例



③ 自動(数値なし)⇒用いた数値名のみが表示された状態で「データの根拠」シートに 記載されます。 自動(数値なし)時の表示例

1次	自動(数値 なし)	〔原材料A投入量〕= 〔原材料A重量〕÷〔A ÷Bの歩留まり率〕
----	--------------	--

♦ 備考

「データの根拠」シートへ出力する備考内容があれば入力します。 ここへ記入した内容は「(6)データの根拠」のデータ入手方法欄に反映されます。

3.4.2.5「原単位」の各項目

原単位						
区分	s	id	原単位名	数値	単位	データの 根拠
共通	<u></u>	104003	原油のボイラー での燃焼	3.28	kg	

◆ 区分

原単位のデータ区分をセルのプルダウンから選択します。内容は以下の通りです。

共通	共通原単位データベースの原単位	
参考	事務局が提供する参考データ原単位	
無し	原単位を用いない場合(GHG 排出量を直接入力した場合)	など

※CFP 検証申請書 (5)データ入力と算出結果から引用

ここへ記入した内容は「(6)データの根拠」の欄のデータ入手方法欄、「(5)データ入力と算出 結果」の原単位欄へ反映されます。

◆ 「s」「id」欄

原単位のデータ区分によって動作が異なります。

区分が「参考」「無し」の時には使用しません。

区分が「共通」の時には、ハイパーリンクのあるセルをクリックするか、「id」欄について はダブルクリックすることで、「共通原単位データベース」シートへ移動し、目的とする原 単位のデータ(「原単位名」、「数値」、「単位」)を選択することが出来ます。使用する原単 位の「公開用整理番号」を把握していれば「id」欄に直接その番号を入力することも可能で す。詳しくは後述の「3.4.3.2 共通原単位の選択」を参照してください。

◆ 単位名、数値、単位

CFP 制度試行事業事務局提供の参考データや原単位を使用しない場合(GHG 排出量を直接 入力するケース)に必要な項目を入力します。共通原単位を使用した際はこれらの項目に 入力は不要で、「共通原単位」シートから読みこまれた値が表示されます。

ここへ表示されている内容は「(5)データ入力と算出結果」シートの原単位の内容欄と「(6) データの根拠」のデータ入手方法欄に反映されます。

◆ データの根拠

参考データ利用時の説明や共通原単位の割り当て等、別途原単位について記載する内容が ある場合に入力します。ここへ表示されている内容は「(6)データの根拠」の関係するエビ デンス資料、説明資料の名称の欄に反映されます。

3.4.3 その他の機能

3.4.3.1 プロセスの選択

「数値定義」シートのLC段階など欄にプロセス定義のデータを反映させることができます。 ここではその手順を説明します。

この機能は有効なプロセス定義シートがインポートされている場合のみ使用できます。 インポートの手順については、2.3 を参照してください。

(1) 段階の列のセルのプルダウンでその項目のあてはまる LC 段階を選択します。



- (2) 「s」欄の「…」をクリックするか、段階名の右横のサブタイトル列のセルをダブルク リックすると、「プロセス定義」シートが立ち上がります。
- (3) 入力したいプロセスのある行のセルをクリックしてアクティブにした状態で「プロセ ス選択確定コントロール」の「選択」ボタンを押します。



(4) LC 段階などの各項目に内容が反映されます。

		LC₿	郷皆など				
行の種類	状態	0	段階	サブタ イトル	プロ セス	項目	(補助 項目)
申請書出力行		::	原材料 調達	表紙	製造	表紙原材料	

3.4.3.2 共通原単位の選択

数値定義の原単位欄に共通原単位のデータを反映させることができます。ここではその手 順を説明します。

原単位						
区分	s	id	原単位名	数値	単位	データの 根拠
共通						
	(1)	「s」欄をク	<i>Уур</i>	(1)	「id」欄をダブ	゛ルクリック

(1) 原単位欄の「s」欄をクリックするか、「id」欄をダブルクリックします。

(2) 「共通原単位」シートが立ち上がります。

	n-#	カ ー,	ドンフットプリ	ントキ	前度試	行事業CO2換算量共通原単位データベー	ース(暫定版)v	er. 3.0		7
	タベース 本デー データベ れたデー 検証基準	」という。)を タペースは、 ニース(暫定説 -タから構成。 町 に基づい	公開します。 本年度のカーボンフットブリ Diver 2を更新したもので、独 されています。また、第三者の た検証を受けております。	ント試行を 立行政法ノ の有識者か	支援するため へ産業技術総 らなる002換	ニ. 〒杭24歳に公表したけっやつっして 合同方所の表示のドに通けでおい資料 富豪売単位テーク地区表得会(素具系 石 ポップア	択確定コント ップが立ち上	・ロールの :がります。		
	<「本う 2.本う 3.本う 第の間で 4.本う	データベース データベース データベース データベース データベース 「「タベース」	」を使用するに知しての注意 に掲載されているデータは、2 に掲載されているデータは、2 に掲載されているデータは、2 れていない箇所があります。 よ、更なる充実につけ、随時	事項> カーボンフ・ ある一定の データ作成 検討されま	ットプリント制設 染件下での証 時の最新の決 :す。	なが行事事のみにおいて、使用することが出来るデータベースです。 定時局を示したものであっため、本数値のみによる本村間出好などはでき 明に変ついて作成されているため、データ作用に用、センドックグラウン・ 原単位温好確定コントロール	上流7"=12		物物	サービス
	データベ kg=CO2 「製品」 「エネル (伊 合算され 指数欄 原単位((一ス項目名) (c) 二ス項目名) (ここに含ま) ギーリ:((にば、製品) いている。) に E+02は の範囲:製約)	の)説明 効果ガス(GHG)である6ガプ たれる原単位はその場品を こに含まれる原単位はそ の「打油」は打油を作るま 10の2乗、E-02は10のマイ まプロセスからの産業原業	ス(二酸化 作るまで(の製品を) での数値が (ナス2乗る 物処理は)	炭素、メタン、 の工程におけ やるまでの工 い、エネルギ と示す 含むが、製品	■数1に変える を温室20歳7 を温室20歳7 超に知えてそれ 一の付け曲の水 そのものの廃棄処理は含まない		図 評価範囲について		
公開用整 理番号	₩10 ▼	分類	名称	単位 	GHG排出量 [kg-CO2e/ 単位] *	信報課(当該製品・サービスを産出するプロセス)	原単位の範囲	- SIAK	¢RIZAN <mark>↓</mark>	[]日ver.2] 公開用転 理番號~
104001	エネル ギー	紋葉	原油のポイラーでの燃焼	MJ	7.33E-02	时回人、石油産業活性化ビンター11石油、レルベ及び石原ウレス44当による比較に開する講座 都全面**(1339) 住立行為注入規治産業可交所**は台エネルメベ及社の解説/*2007年度合訂第**(1200) 環境省・2日産業が二素素素に温気発見ブル出生業主、報告・フトル×e+2**(1200) 環境省・2日産業に高速発見ブル出生業主、利用・フトル×e+2**(1200) 環境省・2日産業に高速発見工業が見受業**(1200)	原油の採掘~生産~使用/炮 焼)	高位発熱量:382MJ/L CH4株出量及びN2O株出量は吸 気補正の考え方を適用している	H22年度 第1期	4
104002	エネル ギー	起葉	原油のポイラーでの燃焼	L	2.80E+00	制型法人 石油素素活動化センテード石油、レベ及び石炭のレベム争なによる比較に満足う構成 物会作物品人に設定素質気所で出合えスカルボー 使計 の数度/ 3007 素度点(1部)(2003) 酸化・(1)素素素(1)素素素(1)素素(1)素(1)素(1)素(1), (1)素(1) 原化・(1)素素(1)素素大素増加(1)素(1)素(1)素(1)素(1), (1)素(1) 原化・(1)素素大素増加(1)素(1)素(1)素(1)素(1)素(1)素(1), (1)素(1) 素(1)素(1)素素大素増加(1)素(1)素(1)素(1)素(1)素(1), (1)素(1), (1) 素(1)素(1)素(1)素(1)素(1)素(1)素(1)素(1), (1)素(1), (1) 素(1)素(1)素(1)素(1)素(1), (1)素(1), (1), (1), (1), (1), (1), (1), (1),	原油の採掘~生産~使用)悪 焼)	高位発熱量:382MJ/L CH4株出量及びN2O株出量は吸 気補正の考え方を適用している	H22年度 第1期	5
						財団法人、石油産業活性化センター:"'石油、LNG及び石炭のLCA手法による比較に関する講査				7 I.

(3) 使用する原単位の行のいずれかのセルをアクティブにした状態で「原単位選択確定コントロール」ポップアップの「選択」をクリックします。



(4) 原単位の名前や数値等、内容が「数値定義」シートに反映されます。

原単位							
区分	s	id	原単位名	数値	単位 デ	<u>-90</u>	
					(4)原単位名	る、数値、単位の)内容が
					反映されま	す。	
共通	<u></u>	104003	原油のボイラー での燃焼	3.28	kg		
	2	の「id」欄(こ公開用整理番号を直	ī接			
	Ŧ	入力するこ	ともできます。				

活動量と原単位の使用単位が文字として完全に一致していないと「入力チェック」でエラ ー表示されますのでご注意ください。特に同じ原単位名で MJ、L、kg など原単位が用意さ れている単位が複数あるものを使用する際はご注意ください。

3.4.3.3「数値定義」シート上の基本的な動作について

CFP 算定キットは Microsoft Excel 上で動作しますので、Excel の操作の多くを申請書作成 へ活用できるようになっています。「数値定義」シートの編集を進める際に必要と考えられ る代表的な Excel 操作及び操作方法を以下に記載します。

- ・ 入力内容の削除⇒削除キー「Del」
- ・ 入力内容のコピー⇒「Ctrl+C」あるいは「右クリック>コピー」
- ・ 入力内容のペースト(貼り付け)⇒「Ctrl+P」あるいは「右クリック>貼り付け」
- ・ 行の追加⇒「追加したい行番号を右クリック>挿入」
- ・ 行の削除⇒「追加したい行番号を右クリック>削除」
- 文字の書式変更⇒「任意のセル上で右クリック>セルの書式設定>変更したい項目」

ヘッダーを含む領域より上は変更できないようにロックがされていますので、列の追加・ 削除はできません。その際は下記のメッセージが表示され、操作は元に戻されます。文字 の拡大や列の幅の調整は可能です。

◆ ヘッダー領域へ編集を加えた場合のエラーメッセージ



4. CFP 検証申請書の出力と保存

CFP 制度試行事業事務局へ提出する CFP 検証申請書を出力し保存します。 ここではその手順を説明します。

(1) スタートの 2-3「申請書出力」ボタンをクリックします。

2-3. 申請書の出力

下書きへ出力された情報を元に、CFP検証申請書のExcelファイルが生成されますので、適宜保存	えしてCFP試行制度事務局へご提出をお願いいたします。
	申請書出力

(2) 自動的に別のブックとして CFP 検証申請書が作成されますので、そのブックを「名前 を付けて保存」します。



(3) 保存が完了すると下記のメッセージが表示されます。



(4) 保存したファイルを開き、入力した内容が反映されているかを確認してください。反 映されていれば、CFP 検証申請書作成は完了です。

CFP 検証申請書を事務局へ提出後、申請書に不備や間違いが見つかった場合には、直接 申請書を編集するのではなく、CFP 算定キット内の「数値定義」シートを編集した上で、 「下書き生成」→「申請書出力」を行います。変更点が明確になり、検証時の負担が低減 されます。

5. 算定キットの終了

CFP 算定キットの終了は、通常の Excel を終了する方法で終了します。

- ウィンドー右上の「×」印をクリック
- メニューバー > ファイル > 終了

「〇〇〇〇を保存しますか?」と聞かれますので、

「保存」 ⇒ 変更内容を保存して終了する
 「保存しない」 ⇒ 変更内容を保存しないで終了する
 「キャンセル」 ⇒ 終了しない

◆ 保存の確認ダイアログが表示された状態

	soppF EDIT 7 F G 2010で動作します。	H I	- ? ⊽
K21 で た A B C D E はじめる前に オプログラムはマクロを使用し、Excel 2003, 2007, 3000 2007, 3000	F G 2010で動作します。	H I	J
A B C D E はじめる前に 本プログラムはマクロを使用し、Excel 2003, 2007, 3007 マクロを有効にして下記のボタンをクリックすると使用	F G 2010で動作します。	H I	J
はじめる前に 本プログラムはマクロを使用し、Excel 2003, 2007, マクロを有効にして下記のボタンをクリックすると使用	2010で動作します。		
本プログラムはマクロを使用し、Excel 2003, 2007, マクロを有効にして下記のボタンをクリックすると使用	2010で動作します。		
マクロを有効にして下記のホタンをクリックすると使用	3+ BB+/++++		
	を開始できます。		
CFP算定キットの使用を開始する			
Micro	osoft Excel		23
「スタート」というページへ移動しない場合にはマクロが有効は Excelのマクロを有効にする方法は以下のURLを参照して設	'CFP算定キットxls'への	変更を保存しますか?	
http://www.cfp-japan.jp/ckit/macro.html	保存(S) 保存し	ない(N) キャンセノ	u l
・N はじめる前に /空		2	14

「キャンセル」を選択した場合には、「はじめる前に」シートが表示されているので、もう 一度、CFP 算定キットを開始するには、中央の「CFP 算定キットの使用を開始する」ボタ ンを押します。

6. その他(注意事項等)

6.1 インポート時の注意点

6.1.1 バージョンチェック

「CFP 検証申請書」ファイル及び「共通原単位」ファイルに関して、バージョンチェック 機能によってお使いの算定キットと互換性がない場合にはインポートが出来ません。その ため、これらのメッセージが出た場合には最新の CFP 算定キットファイルを CFP 制度試 行事業 HP(http://www.cfp-japan.jp/)からダウンロードしてください。

◆ 表示されるエラーメッセージ ~	
Microsoft Excel	以前のバージョンのため
インボートに失敗しました。 この算定キットは、このバージョンの検証申請書をサポートしていませ <u>ん</u>	インポートが出来ません
詳細: 20<>10	
ОК	

6.1.2 テンプレートのインポートについて

テンプレートのインポートに関してヘッダー行部分に改変を加えられたシートを含む場合 には以下のメッセージが出現し、インポートを実行できません。

例えば、独自に「プロセス定義」シートや「数値定義」のシートを編集し、項目名称を変 更、行や列を挿入して、元のヘッダーと異なる形や位置となっている場合、インポートは 行えません。

◆ 通常のヘッダー

数値定義

		LC段	影響など			活動量						
行の種類	状態	s	段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目)	数値名	数値	単位	エビデンス名	

◆ 改変さ 数値定義	た・	ヘッダー	の例			「LC イン	り段階など」か ポート出来ま	^这 改変させん	れてい	る為	>	
LC段階などAAA <= ここが間違い 活動量												
行の種類	状		段階	サブタイトル	プロセス	項目	(補助項目) ▼	数値名	数値	単位	 エビデンス名	
申請書出力行	0	<u></u>	原材料調達	包装資材	廃棄物処理	段ボール		段ボール	1.00E+00	MJ	エビデンス名	

◆ 表示されるエラーメッセージ



6.2 その他

6.2.1「メモリ不足です。完全に表示できません」メッセージ

「数値定義」シートを編集中に、Excelのズーム機能で表示サイズを 100%以外に設定して いる場合に以下のエラーが表示されることがありますが、「OK」ボタンをクリックして続 行します。

-	Microsoft Excel -	- CF	P単	定キットixla											
:	(回) ファイル(P) 編集(P) 表示(W) 科入(P) まれ(W) ツール(P) データ(W) ウィンドウ(W) ヘルブ(V) 目気/FBX へんdobe PDF(B) 営間を入力して(念)														
1	그 중 🖬 ઉ 🖓 정 같, 🛪 🐨 • ઽ, ə • • · · 🕷 조 • 한 한 📷 🚱 📷 • • • • 🔭 🔭 🗇 승규는 즉 즉 한 🗩 🗃 🗃 🗃 🖄 🖄														
1	l ڬ ڬ 🖾 🏊 🗟	a)C	s X) 🔰 🎭 🚱	₩₩校開結果の)返信(©)		ti M	SPゴシック - 1	1 • B	IU	e = = 💀 🥶	%,	.00 .00 ∰	🖅 🖽 • 🌺
	A16 👻		, 1	\$	-										
	A 粉储宁姜	В	C	D	E	F	G	H	1	J	K	L	M	N I	0
1	就直起我	20	71值;	ビ表ユーティー	Ť1										×
11			定家	幕を展開	ブロック: 券	如值入力行		Ţ	挿入 7	(カチェック	下書き生	成 フォーマット	修復	<< 28-	
12		т			ブロック:麦	如何入力行]	<u> </u>	
14	行の種類	状態	s	段階	ブロック: 目 ブロック: 目 ブロック: 目	■請書出力行 ■請書出力行 ■請書出力行	〒(原単位:: 〒(原単位:: 〒(原単位::	共通) 参考)	数值名	数值	単位	エビデンス名	区分	計算式種 類	計算式内容
15	申請書出力行			原材料調達	国 ブロック A	×B	1 (01) 1 (22)		會司來詳	1.00E+00	kg		1次	自動(数値	
16		-			日 ブロック:A	÷в +В									
17	申請書出力行			原材料調達	<u> ±,ブロック; A</u>	- B		× *	() = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =	1005+00	tkm		1次	自動(数値 あり)	
18	申請書出力行		<u></u>	原材料調達	生育ブロセス	原材料製造	까Mic	rosoft Exce			m3		1次	自動(数値 あり)	
19	申請書出力行			原材料調達	生育プロセス	原材料輸送	7/1	<u>``</u>		00	tkm		1次	自動(数値 あり)	
20	申請書出力行		<u></u>	原材料調達	生育ブロセス	原材料製造	≇ n -	人 メモリ不	足です。完全に表示できる	18 E E E E E	kg		1)次	自動(数値 あり)	
21	申請書出力行		<u></u>	原材料調達	生育プロセス	原材料輸送	秦品	L		0	tkm		1)次	自動(数値 あり)	
22	申請書出力行			原材料調達	生育プロセス	原材料製造	資林(日家主)		進行(古家主産のみ)	1002-00	kg		1次	自動(数値 あり)	
23	申請書出力行			原材料調達	生育プロセス	原材料輸送	資材(自家生)	童のみ)	資材(自家生産のみ)	1.00E+00	tkm		1)次	自動(数値 あり)	
24	申請書出力行			原材料調達	生育プロセス	廃棄物処理	廃棄物		廃棄物	1.00E+00	kg		1次	自動(数値 あり)	
25	申請書出力行			原材料調達	生育プロセス	ユーティリティ	燃料		燃料	1.00E+00	-		1次	自動(数値 あり)	

頻繁に表示されるようであれば、

表示 > ズーム > 倍率

において、倍率を100%に指定することで解消されることがあります。

以上